

専攻科食物栄養専攻教育課程

(令和5年度入学生に適用)

区 分	授 業 科 目	講義 演習 実習の別	単 位 数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎 週 授 業 時 間 数								修了要件		備 考	
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		4 年 制 栄 養 士 課 程 注1	専攻科 注2						
						前 期 必 選	後 期 必 選	前 期 必 選	後 期 必 選								
専 門 科 目 A 群 【 講 義 科 目 】	栄養に関する 総合的な科目	栄養学特論Ⅰ	講	2	藤 田	2								28 単 位 以 上	28 単 位 以 上		
		栄養学特論Ⅱ	講	2	大 森	2											
		栄養学特論Ⅲ	講	2	(歌・清水・ 田口) 藤田							2					
	人体の仕組み に関する科目	臨床医学Ⅰ	講	2	川 口	2											
		臨床医学Ⅱ	講	2	川 口			2									
		解剖生理学特論	講	2	川 口			2									
		生化学特論	講	2	藤 田					2							
		運動生理学特論	講	2	(渡 邊)							2					
	食物に関する 科目	食品学特論Ⅰ	講	2	竹 内	2											
		食品学特論Ⅱ	講	2	竹 内			2									
		調理学特論	講	2	半 田	2											
	臨床栄養に関 する科目	臨床栄養学特論Ⅰ	講	2	(稗 苗)			2									
		臨床栄養学特論Ⅱ	講	2	伊 藤			2									
	公衆栄養に関 する科目	公衆栄養学特論	講	2	(加藤久・由田)					2							
		健康管理概論	講	2	(龍波)・藤田							2					
	保健衛生に関 する科目	保健衛生学特論Ⅰ	講	2	角 田	2											
		保健衛生学特論Ⅱ	講	2	角 田			2									
		食品衛生学特論	講	2	角 田			2									
	栄養指導に関 する科目	栄養教育特論	講	2		2											
		給食管理特論	講	2	太 田							2					
栄養士総合特論Ⅰ		講	2	担当各教員					2								
栄養士総合特論Ⅱ		講	2	担当各教員							2						
計				20	24		10	4	4	10	4	2	2	8			
専 門 科 目 B 群 【 演 習 ・ 実 験 ・ 実 習 科 目 】	栄養に関する 演習・実験・ 実習科目	応用栄養学特別実習	実	1	大 森						3		6 単 位 以 上	6 単 位 以 上	臨地実習：病院  臨地実習：保健所等		
		調理学特別実習	実	1	半 田							3					
		臨床栄養学特別実習	実	1	伊 藤			3									
		臨床栄養学学外実習	実	2	伊 藤			※									
		公衆栄養学特別演習	演	1	(加藤久・稗苗) 伊藤					2							
		公衆栄養学学外実習	実	1	伊 藤						※						
		栄養教育特別演習	演	1	(稗 苗)				2								
		栄養士総合特別演習	演	1	伊 藤			2									
		特 別 研 究 Ⅰ	演	4	専攻科専任教員	4	4										
		特 別 研 究 Ⅱ	演	2	専攻科専任教員					2		2					
計				9	6		4	0	9	2	4	3	2	3			

区 分	授 業 科 目	講義 演習 実習 の別	単 位 数		担当教員名 ( )内は 非常勤講師	毎 週 授 業 時 間 数								修了要件		備 考
			必修	選択		1 学 年		2 学 年		4年制 栄養士 養成課程 注1	専攻科 注2					
						前期 必 選	後期 必 選	前期 必 選	後期 必 選							
関 連 科 目	臨床心理学特論	講	2		(坂 井)	2								4 単 位 以 上	4 単 位 以 上	
	社会福祉特論	講	2		関							2				
	発達心理学特論	講	2		(和 澤)							2				
	情報処理特論	演	1		(松村・土田)	2										
	経営情報特論	講	2		井 坂					2						
	健康科学文献講読Ⅰ	演	1		川 口	2										
	健康科学文献講読Ⅱ	演	1		望 月			2								
計		0	11			0	6	0	2	0	2	0	4			
総 計			29	41		14	10	13	14	8	7	4	15			

注1 四年制栄養士養成課程の修了要件は、栄養士養成課程での62単位以上を修得し（又は栄養士資格を有する者）、専攻科での62単位を合わせた124単位を修得することが必要である。

注2 専攻科食物栄養専攻の修了要件は専攻科で62単位以上を修得することが必要である。

注3 管理栄養士国家試験受験資格および栄養学学士の取得については「管理栄養士国家試験受験資格と学士（栄養学）の学位取得について」を参照。

授業科目名	保健衛生学特論			科目コード	A111-10				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 社会生活と健康		担当教員名	角田 香澄					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	(短期) 大学等で履修した公衆衛生学、保健衛生学、または類似科目		後継科目	保健衛生学特論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	保健衛生学特論 ではヒトの集団の健康に関わる要因について講義する。								
学習目標	ヒトの健康維持、増進に栄養が大きく関わっていることから、管理栄養士の仕事が集団の健康を目的とする公衆衛生学にどのように関わっているのか理解する。								
キーワード	栄養、環境、疫学								
テキスト・ 参考書等	イラスト社会・環境と健康 - 公衆衛生学 - 東京教学社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	集団の健康に関連する要因について理解することができる。								
LO-2	公衆衛生学分野で実施されている疫学研究の手法を理解することができる。								
LO-3	集団の健康に関連する要因についての日本および世界の現状を分析し説明することができる。								
LO-4	世界(WHO等)が注目する公衆衛生問題に関心を持ち、意欲的に学習することができる。								
LO-5	公衆衛生において管理栄養士が果たす役割を理解し、実践につなげていくことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	50								50
LO-2	10								10
LO-3			15						15
LO-4			15						15
LO-5	10								10
備考	定期試験の素点とレポートを中心に成績評価を行います。レポート提出の際には、理解を深める為に補足説明を行います。講義の中で、公衆衛生上の重要なトピックスについて簡単にディスカッションを行います。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日時：4月21日（金）2限 内容：オリエンテーション、国家試験問題に挑戦	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第2回	日時：4月21日（金）3限 内容：社会と健康	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】第2回 授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第3回	日時：4月28日（金） 内容：環境と健康	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】第2回 授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第4回	日時：5月12日（金） 内容：保健統計	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】第3回 授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第5回	日時：5月19日（金） 内容：疫学	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分
第6回	日時： 内容：疫学 スクリーニング、EBM、研究倫理	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分
第7回	日時： 内容：	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第8回	日時： 内容：主要疾患の疫学と予防対策 老化 がん	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第9回	日時： 内容：主要疾患の疫学と予防対策 循環器疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。 課題を提出する。	90分
第10回	日時： 内容：主要疾患の疫学と予防対策 代謝疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分

第11回	日時： 内容：主要疾患の疫学と予防対策 運動器疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第12回	日時： 内容：主要疾患の疫学と予防対策 感染症	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第13回	日時： 内容：主要疾患の疫学と予防対策 精神疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第14回	日時： 内容：主要疾患の疫学と予防対策 その他の疾患	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第15回	日時： 内容：全15回の振り返り	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	集団の健康に関連する要因について、十分に理解している。	集団の健康に関連する要因について、理解している。	集団の健康に関連する要因について、必要な範囲で理解している。	集団の健康に関連する要因について、不十分だが理解している。	集団の健康に関連する要因について、理解が困難である。
LO-2	公衆衛生学分野で実施されている疫学研究の手法を深く理解している。	公衆衛生学分野で実施されている疫学研究の手法を漏れなく理解している。	公衆衛生学分野で実施されている疫学研究の手法を必要な範囲で理解している。	公衆衛生学分野で実施されている疫学研究の手法を不十分であるが理解している。	公衆衛生学分野で実施されている疫学研究の手法を理解していない。
LO-3	集団の健康に関連する要因についての日本および世界の現状を的確に分析しわかりやすく説明することができる。	集団の健康に関連する要因についての日本および世界の現状を分析しわかりやすく説明することができる。	集団の健康に関連する要因についての日本および世界の現状を必要な範囲で分析しわかりやすく説明することができる。	集団の健康に関連する要因についての日本および世界の現状を不十分ながら分析し説明することができる。	集団の健康に関連する要因についての日本および世界の現状が分析困難で説明することができない。
LO-4	世界（WHO等）が注目する公衆衛生問題に深く関心を持ち、非常に意欲的に学習することができる。	世界（WHO等）が注目する公衆衛生問題に深く関心を持ち、意欲的に学習することができる。	世界（WHO等）が注目する公衆衛生問題に関心を持ち、意欲的に学習することができる。	世界（WHO等）が注目する公衆衛生問題に不十分ながら関心を持ち、学習することができる。	世界（WHO等）が注目する公衆衛生問題に関心がなく、学習しない。
LO-5	公衆衛生において管理栄養士が果たす役割を深く理解し、実践につなげていく為の計画を立てられる。	公衆衛生において管理栄養士が果たす役割を十分に理解し、実践につなげていく為の計画を立てられる。	公衆衛生において管理栄養士が果たす役割を理解し、実践につなげていく為の計画を立てられる。	不十分ながら公衆衛生において管理栄養士が果たす役割を理解し、実践につなげていく為の計画を立てられる。	公衆衛生において管理栄養士が果たす役割の理解が困難で計画がたてられない。

授業科目名	保健衛生学特論			科目コード	A111-12				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 社会生活と健康		担当教員名	角田 香澄					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	(短期) 大学等で履修した公衆衛生学、保健衛生学、または類似科目		後継科目						
関連科目	情報処理特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	保健衛生学特論 では、福祉や医療を含めた各種の保健行政についてテキストを中心に講義形式で進めます。								
学習目標	集団(国民)の健康の維持増進に係わる日本の行政組織について知り、組織の中で管理栄養士が果たす役割を理解することを目標とします。								
キーワード	保健行政 統計								
テキスト・ 参考書等	イラスト社会・環境と健康-公衆衛生学-(東京教学社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	日本の保健行政について理解することができる。								
LO-2	国内で実施されている各種統計調査について理解することができる。								
LO-3	国内で実施されている各種統計調査結果より日本の現状を分析することができる。								
LO-4	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点は質問等を行い修得に努めることができる。								
LO-5	保健行政において栄養士が果たす役割を理解し、果たす意欲を持てる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60				40				100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	10				10				20
LO-4	10				10				20
LO-5					20				20
備考	基本的に定期試験の素点と成果発表で成績評価を行います。学修姿勢も考慮します(配点は成果発表に含みます)。定期試験では誤問の多い設問には模範解答を示しながら解説します。また成果発表の際にはより深く理解できるよう補足説明をします。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日時： 内容：オリエンテーション・前期試験の解説 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第2回	日時： 内容：食品保健 持ち物：教科書（イラスト食品の安全性も使用します）	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第3回	日時： 内容：保健統計 概要、人口静態統計、人口動態統計 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第4回	日時： 内容：保健統計 生命表 傷病統計 保健・医療・福祉における行政の仕組み	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第5回	日時： 内容：母子保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分
第6回	日時： 内容：成人保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分
第7回	日時： 内容：産業保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第8回	日時： 内容：学校保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第9回	日時： 内容：高齢者保健 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	90分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第10回	日時： 内容：まとめ・補足・文献講読（角田） 持ち物：教科書	
	【予習】教科書の該当部分を読む。	120分
	【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	120分

第11回	日時： 内容：文献講読（前半） 持ち物：教科書		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		90分
		【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第12回	日時： 内容：文献講読（後半） 持ち物：教科書		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		90分
		【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第13回	日時： 内容：国際保健 持ち物：教科書		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		90分
		【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第14回	日時： 内容：放射線セミナー 持ち物：教科書		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		90分
		【復習】授業のノートを読み直し理解を深める。	90分
第15回	日時： 内容：まとめ・定期試験対策 持ち物：教科書		
	【予習】教科書の該当部分を読む。		90分
		【復習】定期テスト対策を行う。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	日本の保健行政について全範囲にわたり深く理解している。	日本の保健行政について全範囲にわたり理解している。	日本の保健行政について必要な範囲で理解している。	日本の保健行政について不十分ながら理解している。	日本の保健行政について理解していない。
LO-2	国内で実施されている各種統計調査について深く理解している。	国内で実施されている各種統計調査について理解している。	国内で実施されている各種統計調査について必要な範囲で理解している。	国内で実施されている各種統計調査について不十分ながら理解している。	国内で実施されている各種統計調査について理解していない。
LO-3	国内で実施されている各種統計調査決]結果より日本の現状を正確かつ多方面から分析することができる。	国内で実施されている各種統計調査決]結果より日本の現状を正確に分析することができる。	国内で実施されている各種統計調査決]結果より日本の現状を必要な範囲で分析することができる。	国内で実施されている各種統計調査決]結果より日本の現状を不十分ながら分析することができる。	国内で実施されている各種統計調査決]結果より日本の現状を分析することができない。
LO-4	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点を積極的に質問する等して修得に努めることができる。	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点を質問する等して修得に努めることができる。	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点を質問する等して必要な範囲で修得に努めることができる。	講義に出席し、理解が不十分な点を質問する等ができる。	講義を欠席しがちで、理解が不十分な点を質問等せず修得する努力ができない。
LO-5	保健行政において栄養士が果たす役割を深く理解し、果たす意欲を非常に持っている。	保健行政において栄養士が果たす役割を理解し、果たす意欲を非常に持っている。	保健行政において栄養士が果たす役割を理解し、果たす意欲を持っている。	保健行政において栄養士が果たす役割を不十分ながら理解し、果たす意欲を持っている。	保健行政において栄養士が果たす役割を理解できず、果たす意欲がない。

授業科目名	臨床医学			科目コード	A113-10				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	川口 将史					
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目	臨床医学II, 生化学特論, 運動生理学特論, 臨床栄養学特論					
関連科目	解剖生理学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	疾病を理解するため、まず人体の構造と機能の基礎を学ぶ。 次に疾病の発症機序、疾病がもたらす症状や合併症を学ぶ。 また、疾病を診断するための検査項目と、疾病の治療方法を学ぶ。								
学習目標	臨床医学の学習を通じて疾病の病態に関する十分な知識を獲得し、健康維持・健康増進・疾病の予防と治療に必要な栄養管理の基礎を理解する。								
キーワード	細胞、組織、器官、恒常性（ホメオスタシス）、疾病、病理、病態、症状、検査、治療、アクティブラーニング								
テキスト・ 参考書等	レビューブック 管理栄養士 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士に必要な人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	栄養状態の分析に必要な、疾病の病態に関する知識を習得している。								
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲を持つ。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	25				5			100
LO-1	50	15							65
LO-2									
LO-3	20	10							30
LO-4						5			5
LO-5									
備考	教科書・参考書を適宜利用し、講義を進める。必ず予習と復習を行うこと。小テストと定期試験の答えは採点して返却する。 講義の最後に行う小テストは、講義資料を参考にしたり、不明点を教員に質問し、理解を深めた上で回答しても良い。 A. 講義中あるいは小テスト回答中に意欲的に質問・復習し、理解を深めようとする姿勢を評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	細胞と遺伝子	
	【予習】レビューブックの「人体の構造」「核酸の構造・機能」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学の「はじめに」「細胞と組織」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第2回	細胞分化と組織	
	【予習】レビューブックの「人体の構造」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学の「細胞と組織」「皮膚組織、体温調節」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第3回	個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構 1	
	【予習】レビューブックの「個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学の「内分泌系」「自律神経系」「皮膚組織、体温調節」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第4回	個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構 2	
	【予習】レビューブックの「個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構」「循環器系」「血液・リンパ・凝固系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学の「循環器系」「血液・リンパ・凝固系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第5回	個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構 3	
	【予習】レビューブックの「個体の恒常性（ホメオスタシス）とその調節機構」「循環器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「循環器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第6回	加齢・疾患に伴う変化 1	
	【予習】レビューブックの「加齢・疾患に伴う変化」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学の「血液・リンパ・凝固系」「免疫系」・臨床医学の「加齢・疾患に伴う変化」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。	120分
第7回	加齢・疾患に伴う変化 2	
	【予習】レビューブックの「加齢・疾患に伴う変化」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学の「加齢・疾患に伴う変化」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第8回	栄養障害と代謝疾患 1	
	【予習】レビューブックの「糖質の代謝」「炭水化物の栄養」「栄養障害と代謝疾患」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学の「栄養障害と代謝疾患」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第9回	栄養障害と代謝疾患 2	
	【予習】レビューブックの「脂質の栄養」「栄養障害と代謝疾患」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学の「栄養障害と代謝疾患」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第10回	栄養障害と代謝疾患 3	
	【予習】レビューブックの「栄養障害と代謝疾患」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学の「栄養障害と代謝疾患」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

第11回	栄養障害と代謝疾患 4	
	【予習】レビューブックの「栄養障害と代謝疾患」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学の「栄養障害と代謝疾患」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第12回	内分泌系 1	
	【予習】レビューブックの「内分泌系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「内分泌系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第13回	内分泌系 2	
	【予習】レビューブックの「内分泌系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「内分泌系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第14回	運動器系 1	
	【予習】レビューブックの「運動器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「運動器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第15回	運動器系 2	
	【予習】レビューブックの「運動器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「運動器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、詳細に説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、かなり詳しく説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、ある程度説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、説明できない。
LO-2					
LO-3	疾病の病態について、詳細に説明できる。	疾病の病態について、かなり詳しく説明できる。	疾病の病態について、説明できる。	疾病の病態について、ある程度説明できる。	疾病の病態について、説明できない。
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を非常に積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識をかなり積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を非常に積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識をある程度積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲が見られない。
LO-5					

授業科目名	臨床医学			科目コード	A113-12				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	川口 将史					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	臨床医学I, 解剖生理学特論		後継科目	生化学特論, 運動生理学特論, 臨床栄養学特論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	疾病を理解するため、まず人体の構造と機能の基礎を学ぶ。 次に疾病の発症機序、疾病がもたらす症状や合併症を学ぶ。 また、疾病を診断するための検査項目と、疾病の治療方法を学ぶ。								
学習目標	臨床医学の学習を通じて疾病の病態に関する十分な知識を獲得し、健康維持・健康増進・疾病の予防と治療に必要な栄養管理の基礎を理解する。								
キーワード	細胞、組織、器官、恒常性（ホメオスタシス）、疾病、病理、病態、症状、検査、治療、アクティブラーニング								
テキスト・ 参考書等	レビューブック 管理栄養士 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士に必要な人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	栄養状態の分析に必要な、疾病の病態に関する知識を習得している。								
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲を持つ。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	25				5			100
LO-1	50	15							65
LO-2									
LO-3	20	10							30
LO-4						5			5
LO-5									
備考	教科書・参考書を適宜利用し、講義を進める。必ず予習と復習を行うこと。小テストと定期試験の答えは採点して返却する。 講義の最後に行う小テストは、講義資料を参考にしたり、不明点を教員に質問し、理解を深めた上で回答しても良い。 A. 講義中あるいは小テスト回答中に意欲的に質問・復習し、理解を深めようとする姿勢を評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	血液系 1	
	【予習】レビューブックの「血液系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「血液系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第2回	呼吸器系 1	
	【予習】レビューブックの「呼吸器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「呼吸器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第3回	免疫系・アレルギー 1	
	【予習】レビューブックの「免疫系・アレルギー」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「免疫系・アレルギー」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第4回	免疫系・アレルギー 2	
	【予習】レビューブックの「免疫系・アレルギー」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「免疫系・アレルギー」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第5回	免疫系・アレルギー 3	
	【予習】レビューブックの「免疫系・アレルギー」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「免疫系・アレルギー」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第6回	呼吸器系 2	
	【予習】レビューブックの「呼吸器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「呼吸器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第7回	血液系 2	
	【予習】レビューブックの「血液系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「血液系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第8回	血液系 3	
	【予習】レビューブックの「血液系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「血液系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第9回	消化器系 1	
	【予習】レビューブックの「消化器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「消化器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第10回	消化器系 2	
	【予習】レビューブックの「消化器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「消化器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

第11回	消化器系 3	
	【予習】レビューブックの「消化器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「消化器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第12回	消化器系 4	
	【予習】レビューブックの「消化器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「消化器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第13回	消化器系 5	
	【予習】レビューブックの「消化器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「消化器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第14回	消化器系 6	
	【予習】レビューブックの「消化器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「消化器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第15回	感染症	
	【予習】レビューブックの「感染症」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学の「感染症」の章を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、詳細に説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、かなり詳しく説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、ある程度説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、説明できない。
LO-2					
LO-3	疾病の病態について、詳細に説明できる。	疾病の病態について、かなり詳しく説明できる。	疾病の病態について、説明できる。	疾病の病態について、ある程度説明できる。	疾病の病態について、説明できない。
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を非常に積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識をかなり積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を非常に積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識をある程度積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲が見られない。
LO-5					

授業科目名	解剖生理学特論			科目コード	A113-20				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 人体の構造と機能		担当教員名	川口 将史					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	臨床医学II, 生化学特論, 運動生理学特論, 臨床栄養学特論					
関連科目	臨床医学I								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	疾病を理解するため、まず人体の構造と機能の基礎を学ぶ。 次に疾病の発症機序、疾病がもたらす症状や合併症を学ぶ。 また、疾病を診断するための検査項目と、疾病の治療方法を学ぶ。								
学習目標	臨床医学の学習を通じて疾病の病態に関する十分な知識を獲得し、健康維持・健康増進・疾病の予防と治療に必要な栄養管理の基礎を理解する。								
キーワード	細胞、組織、器官、恒常性（ホメオスタシス）、疾病、病理、病態、症状、検査、治療、アクティブラーニング								
テキスト・ 参考書等	レビューブック 管理栄養士 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	管理栄養士に必要な人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	栄養状態の分析に必要な、疾病の病態に関する知識を習得している。								
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲を持つ。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	25				5			100
LO-1	50	15							65
LO-2									
LO-3	20	10							30
LO-4						5			5
LO-5									
備考	教科書・参考書を適宜利用し、講義を進める。必ず予習と復習を行うこと。小テストと定期試験の答えは採点して返却する。 講義の最後に行う小テストは、講義資料を参考にしたり、不明点を教員に質問し、理解を深めた上で回答しても良い。 A. 講義中あるいは小テスト回答中に意欲的に質問・復習し、理解を深めようとする姿勢を評価する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	循環器系 1	
	【予習】レビューブックの「循環器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「循環器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第2回	循環器系 2	
	【予習】レビューブックの「循環器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「循環器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第3回	循環器系 3	
	【予習】レビューブックの「循環器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「循環器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第4回	神経系 1	
	【予習】レビューブックの「神経系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学の「神経系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第5回	感覚器系	
	【予習】レビューブックの「神経系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学の「感覚器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第6回	神経系 2・循環器系 4	
	【予習】レビューブックの「神経系」「循環器系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「神経系」「循環器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第7回	腎・尿路系 1	
	【予習】レビューブックの「腎・尿路系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学の「腎・尿路系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第8回	腎・尿路系 2	
	【予習】レビューブックの「腎・尿路系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「腎・尿路系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第9回	腎・尿路系 3	
	【予習】レビューブックの「腎・尿路系」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「腎・尿路系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第10回	生殖器系 1	
	【予習】レビューブックの「生殖器系」「思春期」「成人期」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「生殖器系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

第11回	生殖系 2	
	【予習】レビューブックの「生殖系」「思春期」「成人期」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「生殖系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第12回	生殖系 3	
	【予習】レビューブックの「生殖系」「妊娠期・授乳期」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「生殖系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第13回	生殖系 4	
	【予習】レビューブックの「生殖系」「妊娠期・授乳期」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学・臨床医学の「生殖系」の該当箇所を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第14回	疾患診断の概要	
	【予習】レビューブックの「疾患診断の概要」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学の「診断のための身体診察と検査」の章を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分
第15回	疾患治療の概要	
	【予習】レビューブックの「疾患治療の概要」の章を読み、概要を把握して疑問点をまとめておくこと。	60分
	【復習】講義資料とレビューブックを見返して、講義内容を正しく理解しているか確認すること。 栄養科学イラストレイテッド 臨床医学の「疾患の治療」の章を読み、アドバンスな内容も把握すること。 予習時の疑問点が解消されたか確認し、疑問が解消されていない場合は質問に来ること。	120分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、詳細に説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、かなり詳しく説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、ある程度説明できる。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちについて、説明できない。
LO-2					
LO-3	疾病の病態について、詳細に説明できる。	疾病の病態について、かなり詳しく説明できる。	疾病の病態について、説明できる。	疾病の病態について、ある程度説明できる。	疾病の病態について、説明できない。
LO-4	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を非常に積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識をかなり積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を非常に積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識をある程度積極的に学習しようとしている。	人体の構造と機能および疾病の成り立ちに関する知識を積極的に学習しようとする意欲が見られない。
LO-5					

授業科目名	食品学特論			科目コード	A115-20				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生	担当教員名	竹内 弘幸						
実務経験	食品企業に19年間務めており、食品の研究開発を行ってきた。そこで得た食品の知識を生かし、授業の中で解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	(短期)大学等で履修した食品学、または類似科目	後継科目	食品学特論、食品衛生学特論						
関連科目	調理学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	各種食品素材について化学的・物理的・栄養学観点から説明する。管理栄養士国家試験の受験を前提に講義を行う。授業は、グループワークを中心とした主体的な学習方式で進める。								
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な食品学の基礎知識を身につける。								
キーワード	食品成分、食品化学								
テキスト・ 参考書等	テキスト：管理栄養士国家試験対策完全合格教本、東京アカデミー編、七賢出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点から食品および加工食品を理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	食品や加工食品について食品の化学・物理・栄養学的な観点から関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。使命感や責任感を持って自律的な行動ができ、必要な報告や連絡ができる。								
LO-5	グループワーク等において積極的に参加し、互いの知識や理解を高め合うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	グループワークに積極的に参加すること。 評価A：報告・連絡の様子。食品学への関心・意欲、基本的なコミュニケーション力（返事や応答）、グループワークにおける積極性および協調性を評価。誤答の多かった問題については、試験終了後に正答を開示する。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：グループワーク、小テスト。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション	
	【予習】本webシラバスの内容を読んでおくこと	30分
	【復習】	0分
第2回	人間と食品、米について 110-114ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に精白米の栄養特性や小麦粉について理解を深めておく。	90分
第3回	小麦、とうもろこし、そば、イモ類（前半）について 114-118ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に小麦の調理適性や加工品について理解を深めておく。	90分
第4回	イモ類（後半）、デンプン、甘味料（前半）について 118-122ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に甘味料の種類について理解を深めておく。	90分
第5回	甘味料（後半）、豆類（前半）について 123-126ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、各種甘味料の特徴について、理解を深めておく。	90分
第6回	豆類（後半）、種実類、野菜類（前半）について 127-131	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に大豆の特異成分、大豆加工品、野菜の分類について理解を深めておく。	90分
第7回	野菜類（後半）、果実類（前半）について 132-136ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。とくに、調理による色の変化、特徴的な成分について理解を深めておく。	90分
第8回	果実（後半）、きのこ類、藻類、肉類（前半）について 137-141ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。肉の組織と構造、熟成について理解を深めておく。	90分
第9回	肉類（後半）、魚介類（前半）について 142-146ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。食肉の色と変化、魚介類の死後変化と鮮度についての理解を深めておく。	90分
第10回	魚介類（後半）、水産加工品、乳類（前半）について 147-151ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、魚介類のうま味成分、牛乳の成分的特徴について理解を深めておく。	90分

第11回	乳類（後半）、卵類（前半）について 152-156ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に乳製品、鶏卵の構造と成分について理解を深めておく。	90分
第12回	卵類（後半）、油脂類、調味料（前半）について 157-161ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、油脂の種類とその特徴、油脂加工食品について理解を深めておく。	90分
第13回	調味料（後半）、香辛料、嗜好飲料（前半）について 162-165ページ	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、うま味調味料の成分、アルコール飲料の分類について理解を深めておく。	90分
第14回	嗜好飲料（後半）、ゲル形成素材（前半）について 166-170	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、各種嗜好飲料の成分的な特徴について、理解を深めておくこと。	90分
第15回	ゲル形成素材（後半）、食品の物性、レオロジーについて 171-174 定期試験について	
	【予習】あらかじめテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、コロイドの種類、エマルジョンの種類について、理解を深めておくこと。定期テストの準備のため、テキストの重要語句について、深く理解しておくこと。	690分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点から深く理解し、管理栄養士として必要な知識を十分に身につけている。	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要なその知識の大半を身につけている。	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点からある理解している。	食品および加工食品について管理栄養士として必要な知識をほとんど身につけていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点から非常に高い関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。欠	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点から高い関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。欠席や遅	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点から関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲を持っている。欠席や遅刻をする	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点からある程度関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲を持っている。欠席や遅	食品および加工食品について化学・物理・栄養学的な観点からの関心が薄く、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲が低い。欠席や遅刻をする際は
LO-5	明るく大きな声で返事や質問に対する応答できる。グループワーク等において能動的にコミュニケーションをとりながら、互いの知識や理解を高め合うこと	はっきりとした声で返事や質問に対して応答できる。グループワーク等においてコミュニケーションをとりながら、互いの知識や理解を高め合うことができ	相手に聞こえる声で返事や質問に対する応答ができる。グループワーク等においてコミュニケーションをとりながら、自らの知識や理解を高め合うことができ	小さい声ではあるが返事ができ、質問に対しても応答できる。グループワーク等において受け身的に参加するものの、自らの知識を高めることができる。	小さい声でうつむきがちに返事や質問の応答をしている。グループワーク等において協調性が乏しく、自らの知識や理解を高めることがほとんどできない。

授業科目名	食品学特論			科目コード	A115-22				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生	担当教員名	竹内 弘幸						
実務経験	食品企業に19年間務めており、食品の研究開発を行ってきた。そこで得た食品の知識を生かし、授業の中で解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	食品学特論、食品衛生学特論	後継科目	栄養士総合特論						
関連科目	調理学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	食品中に含まれる成分や食品加工の技術や理論等について、管理栄養士国家試験の受験を前提に講義を行う。授業は、グループワークを中心とした主体的な学習方式で進める。								
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な食品学の基礎知識を身につける。								
キーワード	食品素材、食品加工技術								
テキスト・ 参考書等	テキスト：管理栄養士国家試験対策完全合格教本、東京アカデミー編、七賢出版（食品学特論と同じ） 参考書：学科の食品学総論で使用したテキスト								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	食品に含まれるの成分や食品加工法を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	食品中に含まれる成分や食品加工法の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。								
LO-5	グループワーク等において積極的に参加し、互いの知識や理解を高め合うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	グループワークに積極的に参加すること。 評価A：報告・連絡の様子。食品学への関心・意欲、基本的なコミュニケーション力（返事や応答）、グループワークにおける積極性および協調性を評価。誤答の多かった問題については、試験終了後に正答を開示する。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：グループワーク、小テスト。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	179-182ページ 授業の説明、タンパク質の構造、単糖	
	【予習】シラバスおよびテキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にたんぱく質の構造の違い、単糖の名称について理解を深めておく。	90分
第2回	183-186ページ 二糖類、多糖類、脂質の分類	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。二糖類の種類、多糖類の種類について理解を深めておく。	90分
第3回	187-190ページ 脂肪酸、油脂の分析値について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に脂肪酸の種類、分析値の種類、脂溶性ビタミンの化学名、生理作用および供給源について理解を深めておく。	90分
第4回	191-194ページ 、脂溶性ビタミンについて	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、ビタミンのBとC、カルシウム、ナトリウムについては、理解を深めておく。	90分
第5回	195-198ページ 水溶性ビタミン、ミネラルについて	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にカリウム、鉄、水分と保存性との関連について理解を深めておく。	90分
第6回	199-203ページ 水分、色素成分について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。とくに、カロテノイド系やアントシアニン系の色素の種類、クロロフィルの変化、甘味成分について理解を深めておく。	90分
第7回	204-207ページ 呈味成分、香気成分について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特にうま味成分の種類、主な香気成分について理解を深めておく。	90分
第8回	208、248-251ページ 三次機能、食品表示法、食品表示基準、栄養強調表示、遺伝子組換え食品表示について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。この範囲は、重要なので、細かい点を含めて法令の内容等を十分に理解を深めておく。	90分
第9回	252-256ページ アレルギー表示、期限表示、規格基準、健康や栄養に関する表示について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、アレルギー表示について理解を深めておく。	90分
第10回	257-261ページ 特別用途食品、特定保健用食品、栄養機能食品について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。この範囲は、重要なので、細かい点を含めて法令の内容等を十分に理解を深めておく。	90分

第11回	262-263、266-267ページ 機能性表示食品、強調表示、食品の加工法（前半）について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、栄養機能性食品の機能性の内容、機能性表示食品と特定保健用食品との違いについて理解を深めておく。	90分
第12回	268-271ページ 食品の加工法（後半）、食品成分の変化（前半）について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、各種の食品加工法の特徴、食品加工で用いられる主な酵素について理解を深めておく。	90分
第13回	272-275ページ 食品成分の変化（後半）について	
	【予習】テキスト該当ページを読み、概要を把握しておくこと。	60分
	【復習】重要キーワードについて確認する。特に、脂質の酸化反応、でん粉の糊化と老化、酵素の褐変反応については、深く理解しておくこと。	90分
第14回	276-280ページ 主な加工食品、食品の流通、保存法について	
	【予習】前半7回までのについて見直しておくこと。	150分
	【復習】該当範囲について、重要キーワードについて確認する。特に、非酵素的褐変反応についてよく理解しておくこと。定期試験に備えて、これまで学んだ内容について各自で纏めておくこと。	150分
第15回	総括	
	【予習】これまでの重要キーワードについて確認する。	150分
	【復習】これまでに学んだ重要キーワードについて確認する。定期テストに向けて、重要語句と重要事項について理解し、必要事項を覚えておくこと。	300分

### 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	食品を化学・物理・栄養学的な観点から深く理解し、管理栄養士として必要な知識を十分に身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識を身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点から理解し、管理栄養士として必要な知識の大半を身につけている。	食品を化学・物理・栄養学的な観点からある程度理解している。	管理栄養士として必要な知識をほとんど身につけていない。
LO-2					
LO-3					
LO-4	食品の化学・物理・栄養学的な知識について高い関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。欠席や遅刻をする際は、事	食品成分の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける強い意欲を持っている。欠席や遅刻をする際は、事	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲を持っている。欠席や遅刻をする際は、連絡するこ	食品の化学・物理・栄養学的な知識についてある程度関心を持ち、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲を持っている。欠席や遅刻をする際は、連絡	食品の化学・物理・栄養学的な知識について関心が薄く、管理栄養士の資格取得に向けて学び続ける意欲が低い。欠席や遅刻をする際は、連絡しないことが
LO-5	明るく大きな声で返事や質問に対する応答できる。グループワーク等において能動的にコミュニケーションをとりながら、互いの知識や理解を高め合うこ	はっきりとした声で返事や質問に対して応答できる。グループワーク等においてコミュニケーションをとりながら、互いの知識や理解を高め合うことができ	相手に聞こえる声で返事や質問に対する応答ができる。グループワーク等においてコミュニケーションをとりながら、自らの知識や理解を高め合うことがで	小さい声ではあるが返事ができ、質問に対しても応答できる。グループワーク等において受け身的に参加するものの、自らの知識を高めることができる。	小さい声でうつぶしがちに返事や質問の応答をしている。グループワーク等において協調性が乏しく、自らの知識や理解を高めることがほとんどできない。

授業科目名	食品衛生学特論			科目コード	A115-30				
科目区分	専門科目 - 専門基礎分野科目 - 食品と衛生	担当教員名	角田 香澄						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	食品衛生学	後継科目	食品学特論						
関連科目	食品学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験科目								
授業の概要	食品が生産され人に食されるまでに発生する問題点として、食中毒を引き起こす細菌の汚染などがある。このような事態の発生を可能な限り予防する為に必要な知識を学ぶ。								
学習目標	食品衛生と食品衛生関連法規について理解する。将来食品関連の仕事に従事する場合はもちろん健全な食生活を維持していくにも重要な内容である。								
キーワード	食中毒 HACCP 食品添加物								
テキスト・ 参考書等	「食品の安全性」小塚論編 東京教学社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	食の安全性に関与する要因(微生物や化学物質)について理解している。								
LO-2	食品の劣化を測定する方法(K値、揮発性有機化合物、AV等)の原理を理解している。								
LO-3	各種食中毒菌の生態を踏まえて、食中毒の予防方法を提案できる。								
LO-4	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点は質問等を行い修得に努めることができる。								
LO-5	管理栄養士として相手の立場に立ち食の安全性に関する知識をわかりやすく説明することができる								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80	20							100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4		20							20
LO-5	20								20
備考	基本的に定期試験の素点で成績評価を行います。時々行う小テスト結果や学修姿勢も考慮します(配点は小テストに含みません)。定期試験では誤問の多い設問には模範解答を示しながら解説します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日時： 内容：オリエンテーション・微生物とは 持ち物：教科書	
	【予習】なし	0分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第2回	日時： 内容：細菌の構造と増殖する条件 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読み直す。	120分
第3回	日時： 内容：食中毒の種類と発生状況 細菌性食中毒（サルモネラ菌・病原大腸菌） 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第4回	日時： 内容：食中毒の種類と発生状況 細菌性食中毒（カンピロバクター・腸炎ビブリオ） 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第5回	日時： 内容：食中毒の種類と発生状況 細菌性食中毒（ウェルシュ菌・セレウス菌・ブドウ球菌） 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読み直す。	120分
第6回	日時： 内容：食中毒の種類と発生状況 ボツリヌス菌・ウイルス性食中毒 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第7回	日時： 内容：自然毒食中毒 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第8回	日時： 内容：食品中の汚染物質 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第9回	日時： 内容：寄生虫等 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分
第10回	日時： 内容：食品の容器包装等 持ち物：教科書	
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。	50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。	120分

第11回	日時： 内容：食品添加物 持ち物：教科書		
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。		50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。		120分
第12回	日時： 内容：食品添加物 持ち物：教科書		
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。		50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。		120分
第13回	日時： 内容：遺伝子組換え技術等 持ち物：教科書		
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。		50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。		120分
第14回	日時： 内容：食品衛生行政 持ち物：教科書		
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。		50分
	【復習】テキストの該当範囲を読みなおす。		120分
第15回	日時： 内容：まとめ、定期試験対策 持ち物：教科書		
	【予習】テキストの該当部分を読んでおく。		190分
	【復習】要点を確認・整理して試験準備をすすめる。		200分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	食の安全性に関与する要因（微生物や化学物質）について全範囲にわたり深く理解している。	食の安全性に関与する要因（微生物や化学物質）について漏れなく理解している。	食の安全性に関与する要因（微生物や化学物質）について必要な範囲で理解している。	食の安全性に関与する要因（微生物や化学物質）について不十分ながら理解している。	食の安全性に関与する要因（微生物や化学物質）について理解していない。
LO-2	食品の劣化を測定する方法（K値、揮発性有機化合物、AV等）の原理を全範囲にわたり深く理解している。	食品の劣化を測定する方法（K値、揮発性有機化合物、AV等）の原理を漏れなく理解している。	食品の劣化を測定する方法（K値、揮発性有機化合物、AV等）の原理を必要な範囲で理解している。	食品の劣化を測定する方法（K値、揮発性有機化合物、AV等）の原理を不十分ながら理解している。	食品の劣化を測定する方法（K値、揮発性有機化合物、AV等）の原理を理解していない。
LO-3	各種食中毒菌の生態を踏まえて、全ての食中毒菌の汚染を予防する方法を正確に提案できる。	各種食中毒菌の生態を踏まえて、全ての食中毒菌の汚染を予防する方法を提案できる。	各種食中毒菌の生態を踏まえて、全ての食中毒菌について必要な範囲で汚染を予防する方法を提案できる。	各種食中毒菌の生態を踏まえて、不十分ながら全ての食中毒菌の汚染を予防する方法を提案できる。	各種食中毒菌の生態を踏まえた食中毒菌の汚染を予防する方法を提案できない。
LO-4	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点を積極的に質問する等して修得に努めることができる。	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点を質問する等して修得に努めることができる。	主体的な姿勢で講義に臨むとともに、理解が不十分な点を質問する等して必要な範囲で修得に努めることができる。	講義に出席し、理解が不十分な点を質問する等ができる。	講義を欠席しがちで、理解が不十分な点を質問等せず修得する努力ができない。
LO-5	管理栄養士として食の安全性に関する知識を普及する為に必要な説明する力を十分に修得している。	管理栄養士として食の安全性に関する知識を普及する為に必要な説明する力を修得している。	管理栄養士として食の安全性に関する知識を普及する為に必要な説明する力を必要な範囲で修得している。	管理栄養士として食の安全性に関する知識を普及する為に必要な説明する力を不十分ながら修得している。	管理栄養士として食の安全性に関する知識を普及する為に必要な説明する力を修得していない。

授業科目名	栄養学特論			科目コード	A131-20				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	藤田 恭輔					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	短期大学等で履修した生化学、栄養学、または類似科目。		後継科目	生化学特論					
関連科目	栄養学特論、解剖生理学特論、臨床医学、運動生理学特論、食品学特論、臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	管理栄養士に求められる基礎栄養学の知識を深めるため、栄養とは何かについてヒトの体のしくみの観点から解説する。要所で主体的に栄養について思案してもらいながら講義を進めていく。								
学習目標	管理栄養士国家試験に必要な基礎栄養学の知識をつけるとともに、その知識を表現する力を身につける。								
キーワード	栄養、摂食調節、消化吸収、五大栄養素、エネルギー代謝								
テキスト・ 参考書等	参考書：栄養科学イラストレイテッド「基礎栄養学 第4版」 田地陽一編 羊土社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎栄養学について管理栄養士に必要な知識を習得している。								
LO-2									
LO-3	基礎栄養学の知識を適切に表現する力がある。								
LO-4	基礎栄養学の知識を深めるために積極的に学習しようとする意欲を持つ。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80		15			5			100
LO-1	60								60
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4			15			5			20
LO-5									
備考	A. 講義の中で行う口頭試問に対し、意欲的に回答する姿勢を評価する。 課題には、コメントを付けて返却する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	栄養学の学びを深めるにあたって	
	【予習】学科等で学んだ栄養学の内容を復習する	60分
	【復習】授業の内容を復習する。	120分
第2回	栄養とは？	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第3回	なぜ食べる？	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第4回	食べたものはどのように消化される？	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第5回	栄養素のゆくすえ	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第6回	エネルギー源となる糖質	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第7回	体内での糖質のコントロール・食物繊維のはたらき	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第8回	いろいろな脂質	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第9回	体内での脂質の利用・脂質の質	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第10回	たんぱく質とアミノ酸の代謝	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分

第11回	たんぱく質の栄養価	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第12回	ビタミンのはたらき	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第13回	ミネラルのはたらき	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第14回	体内の水分	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分
第15回	エネルギー代謝	
	【予習】参考書等を使い授業内容の概要を把握する。	60分
	【復習】授業の概要を説明できるようにする。講義で出てきたキーワードを説明できるようにする。	120分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	基礎栄養学について管理栄養士に必要な知識を深く理解している。	基礎栄養学について管理栄養士に必要な知識を理解している。	基礎栄養学について管理栄養士に必要な知識をおおむね理解している。	基礎栄養学について管理栄養士に必要な知識を最低限理解している。	基礎栄養学について管理栄養士に必要な知識を十分に理解できていない。
LO-2					
LO-3	基礎栄養学の知識を適切に表現する力が高い。	基礎栄養学の知識を適切に表現する力がある。	基礎栄養学の知識を適切に表現する力がある程度ある。	基礎栄養学の知識を適切に表現する力が多少ある。	基礎栄養学の知識を適切に表現する力がない。
LO-4	基礎栄養学の知識を深めるために積極的に学習しようとする意欲を高く持っている。	基礎栄養学の知識を深めるために積極的に学習しようとする意欲を持っている。	基礎栄養学の知識を深めるために積極的に学習しようとする意欲をある程度持っている。	基礎栄養学の知識を深めるために積極的に学習しようとする意欲を少しは持っている。	基礎栄養学の知識を深めるために積極的に学習しようとする意欲がない。
LO-5					

授業科目名	栄養学特論			科目コード	A131-22				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	大森 聡					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養学特論		後継科目	栄養学特論、応用栄養学特別実習、臨床栄養学特論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	妊娠期、授乳期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期の各ライフステージの生活習慣、運動時や特殊環境下での身体変化やその栄養摂取法について深く学ぶ。								
学習目標	各ライフステージの心身の特徴を深く理解し、健康を維持増進できるような栄養摂取法を修得する。								
キーワード	ライフステージ 健康維持増進 食事摂取基準								
テキスト・ 参考書等	栢下 淳、上西 一弘 応用栄養学（栄養科学イラストレイテッド） 羊土社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	各ライフステージの心身の特徴を理解し、健康を維持増進できるような栄養摂取法や栄養アセスメントについて修得する。								
LO-2	(該当せず)								
LO-3	(該当せず)								
LO-4	知識を積極的に修得しようとする意欲をもつ。								
LO-5	(該当せず)								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90	10						100	
LO-1	80	10						90	
LO-2									
LO-3									
LO-4	10							10	
LO-5									
備考	期末試験あり 試験については、要望があった場合のみ答案をみせる。 右記のアクティブラーニングを単元ごとに実施します：ミニテスト								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」授業方針の説明 栄養ケア・マネジメント（概念、スクリーニング、アセスメント）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】栄養ケア・マネジメント（概念、スクリーニング、アセスメント）について理解を深める。	120分
第2回	栄養ケア・マネジメント（栄養ケア計画の実施、モニタリング、評価、フィードバック）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】栄養ケア・マネジメント（栄養ケア計画の実施、モニタリング、評価、フィードバック）について理解を深める。	120分
第3回	食事摂取基準について（意義、策定の総論）理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】食事摂取基準について（意義、策定の総論）理解を深める。	120分
第4回	食事摂取基準について（策定における基本的留意事項、活用の基礎理論）理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】食事摂取基準について（策定における基本的留意事項、活用の基礎理論）理解を深める。	120分
第5回	食事摂取基準について（活用の各論）理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】食事摂取基準について（活用の各論）理解を深める。	120分
第6回	妊娠期、授乳期（生理的特徴、妊娠期の栄養アセスメントと栄養ケア）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】妊娠期、授乳期（生理的特徴、妊娠期の栄養アセスメントと栄養ケア）について理解を深める。	120分
第7回	妊娠期、授乳期（問題点と対策、授乳期・産褥期の栄養アセスメントと栄養ケア）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】妊娠期、授乳期（問題点と対策、授乳期・産褥期の栄養アセスメントと栄養ケア）について理解を深める。	120分
第8回	成長、発達、加齢について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】成長、発達、加齢について理解を深める。	120分
第9回	新生児期、乳児期について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】新生児期、乳児期について理解を深める。	120分
第10回	成長期（幼児期、学童期、思春期）について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】成長期（幼児期、学童期、思春期）について理解を深める。	120分

第11回	成人期について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】成人期について理解を深める。	120分
第12回	高齢期の生理的特徴について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】高齢期の生理的特徴について理解を深める。	120分
第13回	高齢期の栄養アセスメントと栄養ケアについて理解する	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】高齢期の栄養アセスメントと栄養ケアについて理解を深める。	120分
第14回	運動・スポーツと栄養について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】運動・スポーツと栄養について理解を深める。	120分
第15回	環境と栄養について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】環境と栄養について理解を深める。	120分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについて理解でき、明確に説明ができる	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについてほぼ理解でき、説明できる	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについて理解でき、説明できる	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについて理解度が不十分な点が多い	各ライフステージの心身の特徴及び食事摂取基準や栄養アセスメントについて理解できていない
LO-2	(該当せず)	(同左)	(同左)	(同左)	(同左)
LO-3	(該当せず)	(同左)	(同左)	(同左)	(同左)
LO-4	講義を積極的に受けていて、疑問点があれば自分で調べたり、質問したりする	講義を積極的に受けていて、疑問点があれば質問する	講義を積極的に受けている	講義の欠席、態度等意欲の欠如が感じられる	講義の欠席、態度等意欲の欠如が感じられる
LO-5	(該当せず)	(同左)	(同左)	(同左)	(同左)

授業科目名	臨床栄養学特論			科目コード	A131-41				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	稗苗 智恵子					
実務経験	富山県職員として富山県立中央病院では26年余勤務し、給食管理、栄養管理・栄養指導を行った。また、NST（栄養サポートチーム）や日本糖尿病療養指導士等の業務経験を生かして授業を実施する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養学特論、食品学特論、解剖生理学特論など前期に履修したことを復習し、同時進行の病理学特		後継科目						
関連科目	臨床栄養学特論、臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	病院における栄養ケアマネジメントや栄養ケアプロセスの必要性を学び、管理栄養士の業務は傷病者個々の栄養評価に基づいた適切な栄養管理を求められていることを認識する。また管理栄養士の専門的知識及び技術の研鑽により医療スタッフと共通の知識・経験を学習し、チーム医療によりより良い医療を提供できることとなることを学ぶ。								
学習目標	病院における栄養士の業務のあり方について学ぶ。患者の病態を把握するための各種アセスメントの方法と評価、栄養治療計画や治療食の作成、栄養指導のあり方、栄養管理や評価など栄養業務のできる能力を養う。								
キーワード	栄養ケア 栄養アセスメント 栄養管理計画 栄養補給 モニタリング 評価								
テキスト・ 参考書等	「エキスパート 臨床栄養学 栄養管理とアセスメント編 第3版」下田妙子編 化学同人 「エッセンシャル 臨床栄養学 第8版」佐藤和人他編 医歯薬出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識・理解：臨床において栄養ケア・マネージメントを行うため、専門知識を習得していること。								
LO-2	技能：身体計測等の視点と活用の技術力も持つ								
LO-3	思考力・判断力・表現力：栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応を考え、計画をたて、推進していくことができること。								
LO-4	関心・意欲・態度：栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるため、学ぶ姿勢を保持していること。								
LO-5	人間性・社会性：治療食を患者の立場で考え伝えようとする力・姿勢								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	30								30
LO-2	5					5			10
LO-3	30					5			35
LO-4	10					5			15
LO-5	5					5			10
備考	定期試験（80％）、その他平常点（20％）とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・態度等の結果を含む。栄養管理のためのアクティブラーニングを行う。誤答の多い設問は解説をする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 臨床栄養管理の意義、臨床栄養マネジメント 診療報酬 福祉・介護と臨床栄養 予想問題を解く エキスパート：P.23～24	
	【予習】エッセンシャルp.333～362を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】診療報酬に関する基本的な考え、加算算定に関わる事項を理解し覚えること。	90分
第2回	栄養士実力認定試験の過去問等を解いてみましょう 栄養ケア記録 栄養アセスメント 試してみよう：症例	
	【予習】エッセンシャルP.363～384 エキスパートP.25～31を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】POSの構成を理解し、経過記録をSORPで記載すべき事柄について整理する。栄養アセスメント指標の理解を深める。 栄養士実力認定試験過去問等の解答です	90分
第3回	栄養スクリーニング 栄養アセスメントの実際	
	【予習】エキスパートP.33～51を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養アセスメント、エネルギー、たんぱく質の必要量の求め方、アセスメント指標でわかる事柄について整理し理解を深める。問診の記載方法を理解する。	90分
第4回	身体計測データの評価 栄養管理 エキスパートP.51-61 食事記録と聞き取り	
	【予習】エキスパートP.51～74を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】身体計測のためのポイントと手法を理解し、アセスメントでわかる事柄をまとめる。 食事聞き取りの手法を振り返る。 参考：握力記録用紙、握力5段階評価	90分
第5回	栄養必要量の算定 身体計測データの評価、栄養管理	
	【予習】エキスパートP.74～84を読みわからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】身体計測の判定基準を整理し理解を深める。 エネルギー量、たんぱく質、水分量の把握。	90分
第6回	臨床検査：検査値から読み取ることができること	
	【予習】エッセンシャルP.435～454 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養状態の指標の読み方について理解を深める。	90分
第7回	食事調査 記録、アドバイスと献立提供について 聞き取り方 エネルギー必要量 たんぱく質必要量	
	【予習】エキスパートP.69～78 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】食事調査法の種類と特徴を整理する。栄養必要量の算定方法について理解を深める。	90分
第8回	予想問題P.85～87 ミニテスト	
	【予習】エキスパートp.78～84を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養必要量の算定方法について理解を深める。	90分
第9回	栄養ケア計画 栄養・食事療法 エキスパートP.89～124 エッセンシャル399～407	
	【予習】エッセンシャルP.385～398 を読み、わからない語句等を調べておくこと。 エキスパートP.89～124	60分
	【復習】栄養補給、栄養教育、多職種と関わりからのケア計画について理解を深める。栄養補給法の選択方法をまとめる。	90分
第10回	栄養・食事療法 栄養補給法 静脈栄養・経腸栄養の栄養管理	
	【予習】エッセンシャルP.403～420 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】病人食、療養食をまとめ栄養補給法の理解を深める。	90分

第11回	傷病者の栄養教育 予想問題P.138を解く	
	【予習】エッセンシャルP.421～426、エキスパートP.127～137 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養教育の流れと方法について整理し、理解を深める。	90分
第12回	モニタリング・再評価	
	【予習】エッセンシャルP.399～402を読み、わからない語句等を調べておくこと。 エキスパートP.139～143	60分
	【復習】各種評価指標を整理する。	90分
第13回	誤嚥予防の口腔ケア 薬と栄養・食物の相互作用	
	【予習】エッセンシャルP.427～433 を読み、わからない語句等を調べておくこと。 エキスパートP.145～159	60分
	【復習】口腔ケアの重要性と手法を理解する。相互作用をまとめ、理解する。	180分
第14回	多職種協働 栄養管理 在宅栄養ケア・マネジメント まとめ 症例	
	【予習】エキスパートP.175～183 を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】記録から読み取る視点を整理する。医療保険と介護保険による訪問栄養指導の違いを整理し理解を深める。	180分
第15回	症例から流れを復習する。身体計測方法、データの読み取り、栄養管理計画、モニタリング、退院時サマリーと連携等 症例	
	【予習】授業で学んだことを整理しておく。エキスパートP.185～195	360分
	【復習】自身が不足していたと感じる部分の理解を深める。	60分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識を十分に網羅している。	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識を網羅している。	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識をほぼ網羅している。	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識に少し欠ける。	臨床において栄養ケア・マネジメントを行うため、専門知識に欠ける。
LO-2	身体計測部位と計測の技術を理解し活用方法を十分に理解している。	身体計測部位と計測の技術を理解し活用方法をほぼ理解している。	身体計測部位と計測の技術をほぼ理解し活用方法がだいたいわかる。	身体計測部位と計測の技術を大まかに理解し活用方法の理解が少不足している	身体計測部位と計測の技術の理解が不足し、活用方法の理解も不十分である。
LO-3	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応を考え、計画をたて、適切な推進に取り組むことができる。	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応を考え、計画をたて、推進していくことができる。	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応や計画についてだいたい推進していくことができる。	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応や計画、推進をすることが少できない	栄養状態の改善に向けて、栄養補給や栄養教育等の対応や計画、推進をすることができない。
LO-4	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるため、常に学ぶ姿勢を保持している。	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるため、学ぶ姿勢を保持している。	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるための、学ぶ姿勢をほぼ保持している。	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるための学ぶ姿勢に少し欠ける。	栄養の指導についての専門職として、より高い専門性・問題解決能力を身につけるための学ぶ姿勢に欠ける。
LO-5	データに基づき、患者の立場に立って適切に言葉を選択し指導に結びつけることができる。	データに基づき、言葉を選択して、指導に結びつけることがほぼできる。	データに基づき、言葉を選択して、指導に結びつけることがだいたいできる。	データに基づき、言葉を選択して、指導に結びつけることが少しできる。	データに基づき、言葉を選択して、指導に結びつけることがあまりできない。

授業科目名	臨床栄養学特論			科目コード	A131-43				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	伊藤 陽子					
実務経験	病院に11年余勤務し、入院患者の栄養管理、入院・外来患者の栄養指導、多職種連携の業務を行った。これらの業務経験を活かして授業を実施する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	解剖生理学特論など前期に履修したことを復習し、同時進行の病理学特論等と関連付けておく。		後継科目	臨床栄養学特別実習					
関連科目	臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	各疾病と栄養ケアの概念を理解する。その上で栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養食事計画の技法を学ぶ。								
学習目標	疾病者に対し病態や栄養状態に基づいた適切な栄養管理を行うための基礎知識と臨床における栄養法および食事食事計画の技法を修得する。								
キーワード	診断基準・ガイドライン 病態生理 病態栄養アセスメント・栄養管理計画・栄養食事療法の基本・栄養食事指導・モニタリングと評価								
テキスト・ 参考書等	新 臨床栄養学 第2版 栄養科学シリーズNEXT (講談社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識・理解：病態に適した栄養管理の知識と理解力を習得していること								
LO-2	技能：栄養士としての基本的な技能								
LO-3	思考力・判断力・表現力：病態、栄養状態のアセスメントから、適切な栄養管理計画の立案ができること								
LO-4	関心・意欲・態度：病態を理解し、適切な栄養管理を検討する想像力を持つこと								
LO-5	人間性・社会性：医療の進歩に伴う、新たな臨床栄養学について、常に学ぼうとする姿勢								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60	20	10		10				100
LO-1	60	20							80
LO-2									
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5									
備考	定期試験(60%)、小テスト(20%)、症例検討(10%)およびその発表(10%)から総合的に評価する。知識の充実を狙いとする授業であり、症例を用いて獲得した知識の活用も学ぶ。 小テストは返却時に解説を行い、知識の定着を図る。症例検討は模範例を示し、発表については講評を行う。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション (授業計画 成績評価について) 5.栄養・代謝・内分泌系疾患 5-1たんぱく質・エネルギー栄養障害、リフィーディング 5-2ビタミン・ミネラルの欠乏症と過剰症 5-3電解質異常	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.90～100を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】栄養障害について復習し、理解を深める。	120分
第2回	5.栄養・代謝・内分泌系疾患 5-4メタボリックシンドローム 5-5肥満症 5-6糖尿病	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.100～114を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第3回	5.栄養・代謝・内分泌系疾患 5-7脂質異常症 5-8高尿酸血症、痛風 5-9甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症 5-10副腎疾患	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.114～128を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第4回	6.循環器疾患 6-1高血圧症 6-2動脈硬化症 6-3脳血管障害 6-4虚血性心疾患 6-5心不全 6-6妊娠高血圧症	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.129～151を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第5回	7.消化器系疾患 7-1口腔疾患 7-2摂食嚥下障害 7-3急性胃粘膜病変、消化性潰瘍、慢性胃炎 7-4胃食道逆流症 7-5炎症性腸疾患	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.152～170を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第6回	7.消化器系疾患 7-6下痢・便秘・過敏性腸症候群 7-7肝炎 7-8肝硬変 7-9脂肪肝・アルコール性肝障害・非アルコール性肝炎	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.171～184を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第7回	7.消化器系疾患 7-10胆石症 7-11急性膵炎・慢性膵炎	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.184～190を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第8回	8.腎・尿路系の疾患 8-1腎炎症候群 8-2ネフローゼ症候群 8-3急性腎障害	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.191～200を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第9回	8.腎・尿路系の疾患 8-4慢性腎臓病 8-5糖尿病性腎症	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.200～210を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第10回	8.腎・尿路系の疾患 8-6尿路結石 8-7血液透析・腹膜透析	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.211～216を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分

第11回	9.外科分野 9-1消化器術前・術後 9-2短腸症候群 9-3人工肛門増設後 9-4ICUおよびCCUにおける栄養管理(クリティカルケア) 9-5病原微生物・院内感染・敗血症 9-6熱傷	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.217～226を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第12回	10.精神・神経疾患 10-1摂食障害 10-2認知症・パーキンソン病 10-3筋萎縮性軸索硬化症 11.呼吸器系疾患	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.227～242を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第13回	12.血液系疾患 12-1鉄欠乏性貧血・その他の貧血 12-2出血性疾患 12-3白血病 13.筋・骨格系疾患	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.243～257を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第14回	14.免疫・アレルギー疾患・皮膚系疾患 14-1食物アレルギー 14-2リウマチ性疾患 14-3免疫不全 14-4炎症性皮膚疾患・アトピー性皮膚炎 15.悪性腫瘍	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.258～276を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分
第15回	16.乳幼児・小児疾患 16-1消化不良症 16-2周期性嘔吐症 16-3先天性代謝異常症 16-4小児肥満 1-5小児糖尿病(1型糖尿病) 16-6小児の腎疾患 17.要介護者・身体・知的障害者	
	【予習】教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」p.277～296を読み、わからない語句等を調べておくこと。	60分
	【復習】疾患および疾患に関連した生理学について復習し、栄養アセスメント、栄養管理計画、教育計画、モニタリングと評価をまとめ理解を深める。	120分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	病態に適した栄養管理の知識と理解力を十分に習得している。	病態に適した栄養管理の知識と理解力を習得している。	病態に適した栄養管理の知識と理解力をほぼ習得している。	病態に適した栄養管理の知識と理解力が少し不足している。	病態に適した栄養管理の知識と理解力が不足している。
LO-2	人体の構造と働き等について理解し課題を考え、解決へ導く技能が十分ある。	人体の構造と働き等について理解し課題を考え、解決へ導く技能がある。	人体の構造と働き等について理解し課題を考え、解決へ導く技能がだいたいある。	人体の構造と働き等について理解し課題を考え、解決へ導く技能が少し不足している。	人体の構造と働き等について理解し課題を考え、解決へ導く技能が不足している。
LO-3	病態、栄養状態のアセスメントから、最も適切な栄養管理計画の立案ができる。	病態、栄養状態のアセスメントから、ほぼ適切な栄養管理計画の立案ができること。	病態、栄養状態のアセスメントから、栄養管理計画の立案がだいたいできること。	病態、栄養状態のアセスメントから、栄養管理計画の立案があまりできない。	病態、栄養状態のアセスメントから、栄養管理計画の立案ができない。
LO-4	病態栄養管理の理解について関心を持ち、意欲的に取り組む力が十分に持っている。	病態栄養管理の理解について関心を持ち、意欲的に取り組む力を持っている。	病態栄養管理の理解について関心を持ち、取り組む力がある。	病態栄養管理の理解についての関心がやや少なく、また意欲がやや不足している。	病態栄養管理の理解についての関心が少なく、また意欲が不足している。積極的に学ぶ姿勢が望まれる。
LO-5	広い視野で、常に前向きに学ぶ姿勢を持つことができている。	広い視野で、常に前向きに学ぶ姿勢を持つことがほぼできている。	広い視野で、常に前向きに学ぶ姿勢を持つことがだいたいできている。	広い視野で、常に前向きに学ぶ姿勢を持つことが少しかつてきている。	広い視野で、常に前向きに学ぶ姿勢を持つことがあまりできていない。

授業科目名	臨床栄養学特別実習			科目コード	A131-45				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	伊藤 陽子					
実務経験	病院に11年余勤務し、入院患者の栄養管理、入院・外来患者の栄養指導、多職種連携の業務を行った。これらの業務経験を活かして授業を実施する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	病態に適応した栄養管理計画に基づき、適切な調理方法を理解し、献立作成や調理実習に臨むこと		後継科目	臨床栄養学学外実習（臨地実習）					
関連科目	臨床栄養学特論 臨床栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養状態の評価、判定、適切な栄養補給、栄養・食事計画の技術について、症例検討、調理、供食を通して学ぶ。 症例を用いてケアプランを作成する。 栄養・食事計画に基づき献立の立案および食材の発注と購入を行う。 調理実習実習を振り返りレポートを作成する。								
学習目標	症例を用いて栄養療法、食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養・食事計画立案の技術を学び、調理と供食を通して理解する。また、おいしく治療効果の上がる治療食の作成ができる能力を習得する。								
キーワード	栄養アセスメント 栄養ケアプラン 献立作成 調理 栄養指導								
テキスト・ 参考書等	「実践 臨床栄養学実習 栄養食事療法と献立の展開 第2版」長浜幸子、日村和弘、宮本佳世子編著（第一出版） 「糖尿病の食品交換表」、「腎臓病の食品交換表」、その他臨床栄養学特論 の教科書								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識・理解：適切な栄養アセスメントを行うための知識を有し、病態に合わせた献立の作成と食事を提供するための専門知識と理解力を習得していること。								
LO-2	技能：栄養ケアプランに基づき適切に調理する技術を習得していること。								
LO-3	思考力・判断力・表現力：適切な栄養アセスメントが行え、栄養ケアプランに基づいた栄養・食事計画が立案できること。								
LO-4	関心・意欲・態度：個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢を保持していること。								
LO-5	人間性・社会性：対象者にあわせて、より良い食事提供の手法を考える力を持つ。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		40	15		5			100
LO-1	20		20						40
LO-2				10					10
LO-3	20		20						40
LO-4				5					5
LO-5						5			5
備考	試験（40％）、レポート（思考・気づき・学び等）（40％）、作成献立及び調理完成の評価および平常点（20％）とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・実習態度、材料の発注や準備、また片付け等への参加状況を含む。調理実習前に栄養素等計算した予定献立を提出、実習後には実習を振り返って理解したことや試食からわかったことなどをレポートし、献立とともに提出する。栄養管理のためのアクティブラーニング（ディスカッション プレゼンテーション								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 病院における栄養士・管理栄養士の業務、医療保険制度、病院給食について 第1章 病院食と管理栄養士・栄養士の立場 第2章 病院における栄養部門の組織と業務・制度 第5章	
	【予習】教科書「実践 臨床栄養学実習」p.1～29、p.122～131を読み、病院における栄養士・管理栄養士の役割について理解する。	30分
	【復習】再度教科書を読み返し、献立作成の流れや病院の献立作成の注意点を理解する。	30分
第2回	栄養ケアマネジメントと栄養アセスメント 栄養ケアマネジメントの一連の流れと栄養アセスメントについて復習する。 一般食献立を作成する。	
	【予習】栄養ケアマネジメントの一連の流れと栄養アセスメントについて、短大の時に学習した内容を復習しておく。	30分
第3回	【復習】栄養ケアマネジメントの一連の流れと栄養アセスメントについて復習する。 一般食献立を完成させる。	30分
	栄養アセスメント 食事の聞き取りと身体計測を行い、その結果をもとに必要な栄養量を算出し、栄養量の過不足を検討する。食事の課題を抽出する。 レポート提出： 一般食献立	
第3回	【予習】第2回の授業内容（栄養アセスメント）について復習して理解しておく。	30分
	【復習】食事の聞き取り、身体計測の結果と考察をレポートにまとめる。	30分
第4回	エネルギーコントロール食、ナトリウムコントロール食の展開献立作成 適応疾患と献立作成のポイント 糖尿病食品交換表の使い方 エネルギー・ナトリウムコントロール食献立の作成 レポート提出：食事の聞き取り調査・身体計測レポート	
	【予習】教科書「実践 臨床栄養学実習」p.30～43、p.48～55を読み、エネルギーコントロール食、ナトリウムコントロール食の献立作成のポイントを理解する。	30分
	糖尿病食品交換表の構成、使い方を復習しておく。 【復習】食品交換表の理解を深める。 エネルギー・ナトリウムコントロール食献立を完成させる。 展開献立について、糖尿病食品交換表を用いて単位計算する。	30分
第5回	たんぱく質コントロール食の展開献立作成 適応疾患と献立作成のポイント 腎臓病食品交換表の使い方 特殊食品（たんぱく質調整食品、エネルギー調整食品）の試食 腎臓病食品交換表を用いたたんぱく質コントロール食献立の作成	
	【予習】教科書「実践 臨床栄養学実習」p.55～67を読み、たんぱく質コントロール食の献立作成のポイントを理解する。	30分
	腎臓病食品交換表の構成、使い方を復習しておく。 【復習】食品交換表の理解を深める。 たんぱく質コントロール食献立を完成させる。	30分
第6回	症例検討 栄養管理計画の立案 栄養診断 レポート提出：エネルギー・ナトリウムコントロール食献立	
	【予習】臨床栄養学特論 の教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」P.73～（3.栄養管理の記録）を読み、栄養管理記録の意義と目的、栄養診断の意義と手順、PES報告について理解しておく。	30分
第6回	【復習】症例をよく読みこみ、栄養課題の抽出と改善に向けた介入計画とをどのようにつなげるのかよく考える。	30分
	栄養管理計画に基づいた栄養指導計画の立案、指導媒体の作成 第9回の調理実習（たんぱく質コントロール食）のための発注 レポート提出：たんぱく質コントロール食献立	
第7回	【予習】担当する疾患（糖尿病または慢性腎臓病）の食事療法および食品交換表の使い方を復習しておく。 限られた時間内で伝えるべきポイントをわかりやすく、かつ、効率よく伝えるためにはどのような工夫をするときが考えておく。	30分
	【復習】栄養指導計画に基づいた栄養指導ができるよう、指導のポイントを頭に入れておく。 栄養指導媒体を完成させる。	30分
第8回	栄養指導：糖尿病または腎臓病患者への栄養指導ロールプレイ 栄養診断と栄養指導報告書の作成（SOAP形式）	
	【予習】栄養指導の流れを確認し、スムーズな指導ができるように媒体の使い方、食事療法などを確認する。 SOAP形式の栄養管理計画書・栄養指導報告書の項目と記入方法について復習しておく。	30分
第8回	【復習】栄養指導を振り返り、自分に不足していた点や他の学生から学んだことをまとめる。 栄養指導報告書（SOAP）を完成させる。	30分
	脂質コントロール食の展開献立作成 適応疾患と献立作成のポイント 脂質コントロール食献立の作成	
第9回	【予習】臨床栄養学特論 の教科書「栄養科学シリーズNEXT 新・臨床栄養学」P.114～（脂質異常症）を読み、疾患と食事療法の理解を深める。教科書「実践 臨床栄養学実習」p.75～を読み、脂質コントロール食の献立作成のポイントを理解する。	30分
	【復習】脂質コントロール食の適応疾患や食事療法、展開献立の作成ポイントについて復習し、脂質コントロール食献立を完成させる。	30分
第10回	調理実習：たんぱく質コントロール食 レポート提出：栄養指導報告書（SOAP）	
	【予習】作業工程を頭に入れ、スムーズに調理実習が行えるようにしておく。 たんぱく質コントロール食の調理の工夫を復習しておく。	30分
	【復習】たんぱく質コントロール食の調理実習、試食からわかったことをまとめ、レポートにする。	30分

第11回	軟菜食、嚥下調整食献立の作成 教科書「実践 臨床栄養学実習」P.112～を読み、嚥下調整食の献立作成のポイントを理解する。 第13回の調理実習（脂質コントロール食）のための発注 レポート提出：脂質コントロール食献立 【予習】嚥下調整食学会分類2021について復習する。教科書「実践 臨床栄養学実習」P.21～、P.112～を読み、軟菜食、嚥下調整食とはどのような食事形態が復習し、常食献立からの展開のポイントを理解する。	30分
	【復習】軟菜食、嚥下調整食とはどのような人を対象とし、どのような食事なのか復習する。 軟菜食、嚥下調整食献立を完成させる。	30分
第12回	調理実習：脂質コントロール食 レポート提出：たんぱく質コントロール食調理実習後レポート 【予習】作業工程を頭に入れ、スムーズに調理実習が行えるようにしておく。 脂質コントロール食の調理の工夫を復習しておく。	30分
	【復習】脂質コントロール食の調理実習、試食からわかったことをまとめ、レポートにする。	30分
第13回	その他の特別食（易消化食、食物アレルギー、化学療法時、低栄養の食事） 第14回の調理実習（嚥下調整食）のための発注 レポート提出：嚥下調整食献立 【予習】教科書「実践 臨床栄養学実習」P.98～を読み、その他の特別食の献立作成のポイントを理解する。 低栄養の改善にはどのような食事の工夫が必要か考える。	30分
	【復習】易消化食の適応疾患と食事療法、食物アレルギーや化学療法時の食事療法、低栄養の栄養介入について理解を深める。試食した栄養補助食品の特徴をまとめる。	30分
第14回	調理実習：嚥下調整食 レポート提出：脂質コントロール食調理実習後レポート 【予習】作業工程を頭に入れ、スムーズに調理実習が行えるようにしておく。 嚥下調整食の調理の工夫を復習しておく。	30分
	【復習】嚥下調整食の調理実習、試食からわかったことをまとめ、レポートにする。	30分
第15回	総括 実習のまとめ これまで授業で行った内容を振り返り、各種展開食献立の作成ポイント、調理上の工夫点について理解を深める。 低栄養の改善で使用される市販食品の試食を行う。 【予習】これまで作成したレポートを見直し、食事療法についてポイントをまとめる。 低栄養改善のために用いられる栄養補助食品にはどのようなものがあるか調べる。	70分
	【復習】一般食献立から種々の展開食献立への展開方法について理解する。 栄養補助食品の試食の感想、それぞれの特徴についてまとめる。	30分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態に合わせた食事の提供を行うための十分な専門知識を持ち、栄養・食事計画について十分に理解している。	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態に合わせた食事の提供を行うための専門知識を持ち、栄養・食事計画について理解している。	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態に合わせた食事の提供を行うための専門知識をほぼ理解している。	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態に合わせた食事の提供を行うための専門知識および栄養・食事計画についての理解がやや不足している。	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態に合わせた食事の提供を行うための専門知識および栄養・食事計画についての理解が不足している。
LO-2	栄養ケアプランに基づき適切に献立作成および調理する技術を十分に習得している。	栄養ケアプランに基づき適切に献立作成および調理する技術を習得している。	栄養ケアプランに基づき適切に献立作成および調理する技術をほぼ習得している。	栄養ケアプランに基づき適切に献立作成および調理する技術がやや不足している。	栄養ケアプランに基づき適切に献立作成および調理する技術が不足している。
LO-3	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養状態の評価、判定、適切な栄養補給法の選択、栄養・食事計画の十分な立案ができる。	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養状態の評価、判定、適切な栄養補給法の選択、栄養・食事計画の立案ができる。	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養状態の評価、判定、適切な栄養補給法の選択、栄養・食事計画の立案がほぼできる。	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養状態の評価、判定、適切な栄養補給法の選択、栄養・食事計画の立案をする力がやや不足している。	栄養・食事療法を必要とする疾患・病態別に栄養状態の評価、判定、適切な栄養補給法の選択、栄養・食事計画の立案をする力が不足している。
LO-4	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢を常に保持している。	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢を保持している。	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢をほぼ保持している。	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢に少し欠ける。	個人や病態に即した食事について研究し、問題を解決するよう学ぶ姿勢に欠ける。
LO-5	対象者を観察し、健康状態や嗜好、経済等に配慮した食事計画を考える力を十分に持っている。	対象者を観察し、健康状態や嗜好、経済等に配慮した食事計画を考える力を持っている。	対象者を観察し、健康状態や嗜好、経済等に配慮した食事計画を考えようと努力している。	対象者を観察し、健康状態や嗜好、経済等に配慮した食事計画を考える力にやや欠ける。	対象者を観察し、健康状態や嗜好、経済等に配慮した食事計画を考える力が不足している。

授業科目名	臨床栄養学学外実習（臨地実習：病院）			科目コード	A131-47				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養と健康		担当教員名	伊藤 陽子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	実習は臨床栄養学特論の授業を終えた後期末試験終了後に行う。事前学習：臨床栄養の知識・技		後継科目						
関連科目	臨床栄養学他管理栄養士養成のための全既取得科目								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	臨地実習先指導者のもとで、2週間（10日間）実際の医療機関等の施設の栄養管理方法の実際を学ぶ。また、各自の課題（テーマ）について実際の場でどのように問題を解決すればよいか考え、レポートにまとめる。後日、発表会を行う。新型コロナウイルスの影響等によって実習内容が限られる場合がある。								
学習目標	実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を修得する。								
キーワード	臨床栄養学 栄養管理 食事療養								
テキスト・ 参考書等	「臨床栄養学 栄養管理とアセスメント編 第3版」下田妙子編 化学同人「エッセンシャル臨床栄養学 第8版」佐藤和人他編 医歯薬出版 その他								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識・理解：管理栄養士として働くための知識や理解力を持っていること。								
LO-2	技能：栄養計画を様々な形で実践する力があること。								
LO-3	思考力・判断力・表現力：栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できること。								
LO-4	関心・意欲・態度：実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、責任ある行動をとることができること。								
LO-5	人間性・社会性：臨床の場におけるモラル・責任感を持ち、表現力豊かに対応することができること。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	自身の健康管理に気をつけて、意欲的に学ぶこと。 実習態度（実習施設評価を含む）、実習レポート、課題発表を、総合的に評価する。 レポートにはコメントをつけて返却する。学外実習であり栄養管理のためのアクティブラーニングを行う。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	事前指導 第1回目 臨地実習の概要説明 実習ノート、実習課題内容を設定する。	
	【予習】実習施設のホームページや資料を確認する。事前打ち合わせの日程確認等を行う。	90分
	【復習】臨地実習で必要と考えられる資料、データ、基準等を整理する。	90分
第2回	事前指導 第2回目 臨地実習施設で日程等や資料と、実習課題についての事前学習等必要な事項の確認。また、実習先でのマナーも確認する。	
	【予習】実習施設へ交通経路も含め、安全な通勤の確認。課題を掘り下げて何を知りたいのか具体的な事柄を記述する。	90分
	【復習】事前打ち合わせで提供された資料や課題について見直す。自身の課題について指摘されたことの内容を検討。	90分
第3回	実習施設での臨地実習1日目 施設でのオリエンテーションと施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習1日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第4回	実習施設での臨地実習2日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習2日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第5回	実習施設での臨地実習3日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習3日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第6回	実習施設での臨地実習4日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習4日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第7回	実習施設での臨地実習5日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習5日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第8回	実習施設での臨地実習6日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習6日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第9回	実習施設での臨地実習7日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習7日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第10回	実習施設での臨地実習8日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間/実時間）	
	【予習】実習8日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分

第11回	実習施設での臨床実習 9 日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間 / 実時間）	
	【予習】実習 9 日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題について資料等の準備を行う。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。自身の課題についても整理する。	60分
第12回	実習施設での臨床実習 10 日目 施設での実習計画による実習。（標準8時間 / 実時間）	
	【予習】実習 10 日目の実習計画に対して、事前の下調べと検討を行い整理をしておく。自身の課題についてまとめ、実習最終日に確認をしていただけるように準備する。また、実習ノートをまとめて実習指導担当者に提出ができるようにしておく。	90分
	【復習】実習内容を記録・整理する。指導担当者からのアドバイスをもとに、管理栄養士業務を確認する。自身の課題についても整理する。	60分
第13回	事後指導 第 1 回目 実習のまとめ 実習報告会用資料作成 実習報告書冊子作成	
	【予習】資料を整理。	90分
	【復習】報告会のパワーポイントの要点をまとめる。	90分
第14回	事後指導 第 2 回目 パワーポイント作成	
	【予習】報告会のパワーポイントの要点・資料の確認。	90分
	【復習】パワーポイント、原稿等の確認。	90分
第15回	事後指導 第 3 回目 実習報告会 質疑 講評	
	【予習】発表内容、原稿の練習、確認。	90分
	【復習】実習で学んだ内容から管理栄養士業務を振り返り、今後の学習で補う必要のある知識技術を確認し、その充実に努める。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	管理栄養士として働くための知識や理解力を十分に持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力を持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力をほぼ持っている。	管理栄養士として働くための知識や理解力が少し欠けている。	管理栄養士として働くための知識や理解力が欠けている。
LO-2	栄養計画をより具体的に様々な形で実践する力がある。	栄養計画を様々な形で実践する力がある。	栄養計画を指示や指導を受けながら実践する力がある。	栄養計画を指示や指導を受けてもあまり実践することができない。	栄養計画を指示や指導を受けても実践することができない。
LO-3	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画を的確に立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画をおおまかに立案できる。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画があまり立案できない。	栄養スクリーニング、アセスメントに基づき、栄養計画が立案できない。
LO-4	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、他の実習者の規範となるような行動をとることができる。	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、責任ある行動をとることができる。	実習成果をまとめ、発表に至るまでの経過を含め、ほぼ責任ある行動をとることができる。	実習成果をまとめが十分といえず、発表に至るまでの経過を含め、少し無責任な行動がみられる。	実習成果をまとめができず、発表に至るまでの経過を含め、無責任な行動がみられる。
LO-5	臨床におけるモラル・責任感があり、積極的に患者・他職種等と関わり、表現力豊かに対応することができる。	臨床におけるモラル・責任感を持ち、表現力豊かに対応することができる。	臨床におけるモラル・責任感を学びながら、患者・他職種等との対応に努めている。	臨床におけるモラル・責任感が少し欠け、患者・他職種等との対応が十分とは言えない。	臨床におけるモラル・責任感が欠け、患者・他職種等との対応をとることができない。

授業科目名	栄養教育特論			科目コード	A133-10				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導		担当教員名						
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	栄養指導論		後継科目	栄養教育特論 公衆栄養学特論					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養教育に必要とされる技法等, 栄養教育に必要な知識を学習する.								
学習目標	健康的な生活習慣を形成するために、管理栄養士が果たす役割について学び、実践に活かせる実力を身につける。								
キーワード	栄養教育 行動科学理論 栄養カウンセリング								
テキスト・ 参考書等	春木敏 著 「エッセンシャル栄養教育」 医歯薬出版、日本栄養士会 編 「管理栄養士栄養士必携」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】栄養指導の概念や理論に関する知識などを十分に理解している。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	【関心・意欲・態度】自ら進んで学ぶ積極的な学習態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	90					10			100
LO-1	90								90
LO-2									
LO-3									
LO-4						10			10
LO-5									
備考	A:授業への参加姿勢で評価、遅刻や欠席等で減点します								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 栄養教育特論について	
	【予習】シラバスを把握する	60分
	【復習】第1回目の内容を確認する	90分
第2回	行動科学理論とモデル 行動科学理論について	
	【予習】第2回目の内容について把握する	60分
	【復習】第2回目の内容について確認する	90分
第3回	行動科学理論とモデル 行動科学理論のモデルについて	
	【予習】第3回目の内容について把握する	60分
	【復習】第3回目の内容について確認する	90分
第4回	行動科学理論とモデル 行動科学理論のモデルについて	
	【予習】第4回目の内容について把握する	60分
	【復習】第4回目の内容について確認する	90分
第5回	栄養教育マネジメント 実態把握	
	【予習】第5回目の内容について把握する	60分
	【復習】第5回目の内容について確認する	90分
第6回	栄養教育マネジメント プランニング	
	【予習】第6回目の内容について把握する	60分
	【復習】第6回目の内容について確認する	90分
第7回	栄養教育マネジメント 評価について	
	【予習】第7回目の内容について把握する	60分
	【復習】第7回目の内容について確認する	90分
第8回	健康教育について	
	【予習】第8回目の内容について把握する	60分
	【復習】第8回目の内容について確認する	90分
第9回	栄養カウンセリング	
	【予習】第9回目の内容について把握する	60分
	【復習】第9回目の内容について確認する	90分
第10回	栄養教育に関わる各種施策、法律の理解 施策について	
	【予習】第10回目の内容について把握する	60分
	【復習】第10回目の内容について確認する	90分

第11回	栄養教育に関わる各種施策、法律の理解 法律について	
	【予習】第11回目の内容について把握する	60分
	【復習】第11回目の内容について確認する	90分
第12回	ライフステージ毎の栄養教育 妊娠期、乳・幼児期	
	【予習】第12回目の内容について把握する	60分
	【復習】第12回目の内容について確認する	90分
第13回	ライフステージ毎の栄養教育 学童期、思春期	
	【予習】第13回目の内容について把握する	60分
	【復習】第13回目の内容について確認する	90分
第14回	ライフステージ毎の栄養教育 成人期、高齢期	
	【予習】第14回目の内容について把握する	60分
	【復習】第14回目の内容について確認する	90分
第15回	栄養教育のまとめ	
	【予習】第15回目の内容について把握する	60分
	【復習】第15回目の内容について確認する	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養教育の内容がすべて理解できている	栄養教育の内容がほとんど理解できている	栄養教育の内容が概ね理解できている	栄養教育の内容が理解できている	栄養教育の内容がほとんど理解できていない
LO-2					
LO-3					
LO-4	授業の欠席が皆無で、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などを積極的に行っている。	授業の欠席がほとんど無く、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などをしっかり行っている。	授業の欠席あまり無く、webシラバスを積極的に活用し予習、復習などを行っている。	欠席が2割未満で一定の予習、復習などを行っている。	欠席が多く意欲が見られない。
LO-5					

授業科目名	栄養教育特別演習			科目コード	A133-12				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 栄養の指導		担当教員名	稗苗 智恵子					
実務経験	富山県職員として富山県立中央病院では26年余勤務し、給食管理、栄養管理・栄養指導を行った。また、保健所での公衆栄養業務経験を活かして授業を実施する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	栄養教育特論		後継科目						
関連科目	公衆栄養学特論 健康管理概論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	栄養教育特論の内容を踏まえ、より実践的な技術や知識を身につける。								
学習目標	学習者の行動変容を促すために、管理栄養士が果たす役割について学び、実践に活かせる力を身につける。								
キーワード	栄養教育マネジメント 行動科学理論								
テキスト・ 参考書等	医歯薬出版、日本栄養士会 編 「管理栄養士栄養士必携」等 必要に応じて各自で図書館等から借りてください。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】栄養指導の概念や理論に関する知識などを理解し、栄養マネジメント等に活かすことができる。								
LO-2	【技術・実践力】これまでの栄養指教育に関する学習内容を活かした実習をすることができる。								
LO-3	【思考・判断力】これまでに習得した知識を基に、対象者に適した指導計画、方法が立案できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他のメンバーをサポートできる。								
LO-5	【人間性】栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力などを備え、指導対象者の心情に配慮する姿勢を心得ている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			15		15				30
LO-2			5		5				10
LO-3			15		15				30
LO-4			10		10				20
LO-5			5		5				10
備考	模擬栄養教育をグループごとに実施します。プレゼンテーションに対し、質疑応答、ディスカッション及びアドバイスなどを行い、互いにより良い成果を導くための工夫を考えます。 授業への参加やレポートを含めて評価します。栄養教育のためのアクティブラーニングを行います。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業内容解説 グループ分け	
	【予習】栄養教育を行い際に心がけること等 前期授業を復習しておく	30分
	【復習】各自・各グループのテーマについて構想を考える。	30分
第2回	栄養教育計画立案 生活習慣病予防（やせ、肥満、高血圧、過血糖、脂質異常、がん等）	
	【予習】生活習慣病対策について振り返りをしておく。 指導する場面を検討する。 どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分
第3回	【内容】 テーマ：各グループのテーマ発表 指導の流れを作成 指導媒体の準備	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分
第4回	【内容】 テーマ：各グループのテーマで活動 栄養教育テーマの資料選定 レジュメ、指導媒体の準備	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分
第5回	【内容】 発表：各グループ20分程度、質疑応答及びアドバイス（10分程度）、レポート作成	
	【予習】より理解しやすい指導のやめに役割分担をしながら、練習を重ねる。 発表は、資料を読むのではなく、語りかけながら行なえるように。	30分
	【復習】発表を振り返り、より良くするための工夫で良かったこと、今後に向けての対策、他のグループから学んだこと等をレポートにまとめる。	30分
第6回	【内容】 テーマ：各グループのテーマ発表 病態の栄養指導（糖尿病、心臓病、腎臓病、肝臓病、胃潰瘍、クローン病等） 指導の流れを作成 指導媒体の準備	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分
第7回	【内容】 テーマ：各グループのテーマで活動 栄養教育テーマの資料選定 レジュメ、指導媒体の準備	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分
第8回	【内容】 発表：各グループ20分程度、質疑応答及びアドバイス（10分程度）、レポート作成	
	【予習】より理解しやすい指導のやめに役割分担をしながら、練習を重ねる。 発表は、資料を読むのではなく、語りかけながら行なえるように。	30分
	【復習】発表を振り返り、より良くするための工夫で良かったこと、今後に向けての対策、他のグループから学んだこと等をレポートにまとめる。	30分
第9回	【内容】 テーマ：各グループのテーマ発表（妊産婦、乳児、幼児、妊娠可能な女性、男性（パートナー）、祖父母等） 指導の流れを作成 指導媒体の準備	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分
第10回	【内容】 テーマ：各グループのテーマで活動 栄養教育テーマの資料選定 レジュメ、指導媒体の準備	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分

第11回	【内容】 発表：各グループ20分程度、質疑応答及びアドバイス（10分程度）、レポート作成	
	【予習】より理解しやすい指導のやめに役割分担をしながら、練習を重ねる。 発表は、資料を読むのではなく、語りかけながら行なえるように。	30分
	【復習】発表を振り返り、より良くするための工夫で良かったこと、今後に向けての対策、他のグループから学んだこと等をレポートにまとめる。	30分
第12回	【内容】 テーマ：各グループのテーマ発表（思春期、青年期、成人期、老年期等） 指導の流れを作成 指導媒体の準備	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分
第13回	【内容】 テーマ：各グループのテーマで活動 栄養教育テーマの資料選定 レジュメ、指導媒体の準備	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】各テーマにあわせて、指導方法を検討する。 個別指導、集団指導で必要となる資料は何か考え、指導手順、必要書類等を揃える。	30分
第14回	【内容】 発表：各グループ20分程度、質疑応答及びアドバイス（10分程度）、レポート作成	
	【予習】より理解しやすい指導のやめに役割分担をしながら、練習を重ねる。 発表は、資料を読むのではなく、語りかけながら行なえるように。	30分
	【復習】発表を振り返り、より良くするための工夫で良かったこと、今後に向けての対策、他のグループから学んだこと等をレポートにまとめる。	30分
第15回	【内容】授業を振り返り、栄養教育を行う場合に留意することをまとめる。レポート作成。	
	【予習】発表を振り返る。	30分
	【復習】成果をまとめて、レポートを提出する。	30分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養指導の概念や理論に関する知識などを理解し、栄養マネジメント等に十分に活かすことができる。	栄養指導の概念や理論に関する知識などを理解し、栄養マネジメントをほぼ行うことができる。	栄養指導の概念や理論に関する知識などを理解し、栄養マネジメントを行うことができる。	栄養指導の概念や理論に関する知識などを理解し、栄養マネジメントを行うには少し困難がある。	栄養指導の概念や理論に関する知識などを理解し、栄養マネジメントを行うには困難がある。
LO-2	これまでの栄養指教育に関する学習内容を十分に活かし実習することができる。	これまでの栄養指教育に関する学習内容を大まかに活かし、実習することができる。	これまでの栄養指教育に関する学習内容を活かし、実習することができる。	これまでの栄養指教育に関する学習内容を活かし、実習するには少し努力が必要である。	これまでの栄養指教育に関する学習内容を活かし、実習するには努力が不足している。
LO-3	これまでに習得した知識を基に、対象者に適した指導計画、方法が適切に立案できる。	これまでに習得した知識を基に、対象者に適した指導計画、方法がほぼ適切に立案できる。	これまでに習得した知識を基に、対象者に適した指導計画、方法が立案できる。	これまでに習得した知識を基に、対象者に適した指導計画、方法が立案する際に少し困難がある。	これまでに習得した知識を基に、対象者に適した指導計画、方法が立案する際に困難がある。
LO-4	ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他のメンバーについて適切にサポートできる。	ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他のメンバーについてほぼ適切にサポートできる。	ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他のメンバーについてサポートできる。	ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他のメンバーについて少しサポートに欠ける。	ディスカッションやグループ討議に積極的に参加し、他のメンバーについてサポートに欠ける。
LO-5	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力などを備え、指導対象者の心情に配慮する姿勢を十分に心得ている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力などを備え、指導対象者の心情に配慮する姿勢をほぼ心得ている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力などを備え、指導対象者の心情に配慮する姿勢を心得ている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力などを備え、指導対象者の心情に配慮する姿勢が少し不足している。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力などを備え、指導対象者の心情に配慮する姿勢が不足している。

授業科目名	調理学特論			科目コード	A135-10				
科目区分	専門科目 - 専門分野科目 - 給食の運営		担当教員名	半田 彩実					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	調理学に関する基礎的知識		後継科目	調理学特別実習					
関連科目	食品学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学) 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	調理学における人間と食べ物のかかわりについて基本的な考え方を理解する。授業前半では、健康的な日常生活を送るための栄養バランスや食事環境、食品の調理機能などについて振り返りを含めて講義中心に進める。授業後半では、調理学に関する研究はどのような内容が行われているかについて最新の論文を読み、報告することを通じて学びや関心を深める。								
学習目標	管理栄養士の国家試験合格に必要な調理学の基本的知識を修得する。 調理学の要点や関心のある最新の論文を分かりやすくまとめ、学びを深める。								
キーワード	調理学 健康 調理操作 調理機能 食事環境								
テキスト・ 参考書等	テキスト：長尾慶子編「調理を学ぶ(第3版)」(八千代出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	調理学の専門的知識を理解している。								
LO-2									
LO-3	調理学に関する最新の論文を分かりやすくまとめて発表し、内容を活かそうと考えている。								
LO-4									
LO-5	専門職に相応しいモラルや態度を備えている。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60				30	10			100
LO-1	60								60
LO-2									
LO-3					30				30
LO-4									
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業への関心・意欲・態度、提出物の内容などを総合して評価する。 論文紹介の際、発表担当者は、PowerPointを作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を事前に読んでくること。 論文紹介の発表については、その場でコメントをする。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：授業の進め方と注意点 食文化と食生活	
	【予習】シラバスに目を通し、内容を確認する	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第2回	調理操作と調理器具 資料	
	【予習】テキストを読んでおく（p.134～p.156）	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第3回	植物性食品の調理1 資料	
	【予習】テキストを読んでおく（p.15～p.48）	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第4回	植物性食品の調理2 資料	
	【予習】テキストを読んでおく（p.49～p.60）	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第5回	動物性食品の調理 資料	
	【予習】テキストを読んでおく（p.61～p.93）	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第6回	成分抽出食品の調理 資料	
	【予習】テキストを読んでおく（p.95～p.116）	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第7回	おいしさとは	
	【予習】テキストを読んでおく（p.118～p.133）	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第8回	食事計画と調理環境	
	【予習】テキストを読んでおく（p.158～p.171, p.185～p.199）	30分
	【復習】授業内容について、教科書や配布した資料を用いて要点をまとめる	100分
第9回	発表の準備	
	【予習】論文の検索方法を調べる	30分
	【復習】紹介する論文を検索する	120分
第10回	論文紹介1	
	【予習】発表者は、発表資料を作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を読む	120分
	【復習】授業で紹介された論文の気になった点を調べる	120分

第11回	論文紹介2	
	【予習】発表者は、発表資料を作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を読む	120分
	【復習】授業で紹介された論文の気になった点を調べる	120分
第12回	論文紹介3	
	【予習】発表者は、発表資料を作成し、その他の学生は発表者が選んだ学術論文を読む	120分
	【復習】授業で紹介された論文の気になった点を調べる	120分
第13回	最新論文から活かせる内容の検討	
	【予習】これまで紹介された論文を振り返る	150分
	【復習】発表の準備を進める	120分
第14回	管理栄養士の過去問題に触れる	
	【予習】これまでの内容を教科書を使用して理解しておく	100分
	【復習】間違った問題をもう一度解く	120分
第15回	発表とまとめ	
	【予習】発表の流れや資料を確認し、発表ができるように準備をする	120分
	【復習】授業内容を振り返り、テストに備える	180分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	調理学に関する高い専門的知識を非常によく理解している。	調理学に関する専門的知識を理解している。	調理学に関する専門的知識をおおよそ理解している。	調理学に関する専門的知識の理解がやや不十分である。	調理学に関する専門的知識を理解していない。
LO-2					
LO-3	調理学の要点や最新の内容を非常に分かりやすくまとめ、積極的に自分の意見や考え、今後活かす方法について発表することができる。	調理学の要点や最新の内容を分かりやすくまとめ、自分の意見や考え、今後活かす方法について発表することができる。	調理学の要点や最新の内容をまとめ、自分の意見や考えを発表することができる。	調理学の要点や最新の内容をまとめているが、意見や考えが不十分である。	調理学の要点や最新の内容をまとめられておらず、何も考えていない。
LO-4					
LO-5	専門職に相応しいモラルや態度が十分に備わっている。	専門職に相応しいモラルや態度が備わっている。	専門職に相応しいモラルや態度がおおよそ備わっている。	専門職に相応しいモラルや態度がやや不十分である。	専門職に相応しいモラルや態度が非常に不十分である。

授業科目名	栄養士総合特別演習			科目コード	A151-20				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	伊藤 陽子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	臨床栄養学特論、や、臨床栄養学特別実習で学んだことを復習しておくこと。		後継科目	臨床栄養学学外実習(臨地実習) 公衆栄養学学外実習(臨地実習)					
関連科目	臨床栄養学特別実習 公衆栄養学特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	傷病者に対する適切な栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的な栄養マネジメントの考え方を理解する。 栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について修得する。 医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解する。								
学習目標	臨床栄養・公衆栄養について現場における管理栄養士の職務内容と責務について学習する。学習を通して、臨地実習の意義を認識し、目標を定め、管理栄養士の専門性についての理解を深める力を養う。								
キーワード	クリニカルパス 栄養教育 実践 多職種協働(チーム)								
テキスト・ 参考書等	「臨地実習マニュアル[臨床栄養学第6版]」建帛社 「臨地実習及び校外実習の実際(2014年版)」(公社)日本栄養士会(社)全国栄養士養成施設協会 「臨床栄養学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	知識：栄養管理業務について専門的な知識・理解力を習得していること。								
LO-2	技術：臨地実習に向けて専門技術・実践力を習得していること。								
LO-3	思考力：臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力を備えていること。								
LO-4	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するように努めていること。								
LO-5	人間性：栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力を備えていること。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			10	70		20			100
LO-1			10	10		20			40
LO-2				20					20
LO-3				10					10
LO-4				20					20
LO-5				10					10
備考	レポート・作品提出(80%)、平常点(20%)とし、総合的に評価する。なお、平常点には受講の意欲・態度、成果の発表等の結果を含む。 レポートにはコメントをつけて返却する。栄養管理のためのアクティブラーニング(プレゼンテーショングループワーク)を行う。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	臨地実習の概要（臨床栄養学） 臨地実習施設について 「臨地実習マニュアル」と「臨地実習及び校外実習の実際」から 最新の情報日本糖尿病協会誌「さかえ」に学ぶ	
	【予習】「臨地実習マニュアル」と「臨地実習及び校外実習の実際」を読み、臨地実習の意義を予習する。	30分
	【復習】臨地実習の心構えを明確にし、理解を深める。	30分
第2回	医療従事者としての心構え 栄養部門の役割	
	【予習】「臨地実習マニュアル」p2～20を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】実習の目的を明確にする。多職種役割を理解し、院内でのチームについて整理する。	30分
第3回	給食の運営・経営管理	
	【予習】「臨地実習マニュアル」p.76～92を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】給食運営・給食経営に必要な語句の意味について理解を深める。	30分
第4回	管理栄養士とチーム医療・クリニカルパス 臨地実習施設について。多職種協働において管理栄養士に求められる知識や役割を考える。	
	【予習】多職種協働において管理栄養士に求められる知識や役割を考える。	30分
	【復習】各種委員会等の役割を整理する。	30分
第5回	栄養アセスメント、栄養補給法、ベッドサイド訪問 臨地実習の実際について	
	【予習】「臨地実習マニュアル」p.23～33を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】治療食分類、各種栄養剤の特徴について理解を深める。	30分
第6回	栄養教育のテクニック。栄養教育の流れを理解し、教育の手法について予習する。測定、身体計測、歩く速さ等	
	【予習】栄養教育の流れを理解し、教育の手法について予習する。	30分
	【復習】問診・栄養指導記録方法について理解を深める。	30分
第7回	病態栄養管理のための集団栄養指導の実際について。どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	
	【予習】どのような媒体が理解しやすいと考えるか予習する。	30分
	【復習】患者や家族の視線で媒体や内容が好ましいか、また倫理的に問題となる言葉がないか再考する。	30分
第8回	栄養指導媒体を用いて 臨地実習課題について。表現力豊かな演出を練習する。臨地実習施設で特に理解を深めたいと思うこと（課題）について 集団指導用媒体作成	
	【予習】表現力豊かな演出を練習する。臨地実習施設で特に理解を深めたいと思うこと（課題）について	30分
	【復習】反省も含め、他グループから学んだことを整理し、レポート提出する。	30分
第9回	集団指導発表	
	【予習】「臨地実習マニュアル」を読み、わからない語句を調べる。	30分
	【復習】テーマに基づき、媒体を作成する。 記録方法を理解し、SOAPでの記録にどのような記載が必要か整理する。	30分
第10回	栄養指導媒体（集団指導用）について 臨地実習施設で特に理解を深めたいと思うこと（課題）について	
	【予習】各テーマについて媒体を作成し、どのような場面での使用が検討しておく	30分
	【復習】各班の発表について気づきをまとめる。また、自らの改善点をまとめる。	30分

第11回	臨地実習施設の組織、管理栄養士業務を調べる。臨地実習先事前打ち合わせと実習課題の見直し 症例検討	
	【予習】臨地実習施設の組織、管理栄養士業務を調べる。	30分
	【復習】臨地実習先事前打ち合わせと実習課題の見直しで、実習目標を明確にし、課題を事前に調べる。プリントを整理する。	30分
第12回	臨床栄養学臨地実習オリエンテーション（ノートの書き方、レポート提出等）	
	【予習】臨地実習施設、組織図、特徴等を調べる。	30分
	【復習】実習に備える。	30分
第13回	公衆栄養学1（実習オリエンテーション） 「働く人の健康づくり～栄養・食生活～」について、新たな取り組みを考える。	
	【予習】「臨地実習及び校外実習の実際」を読み、臨地実習の意義を予習する。	30分
	【復習】日本・富山県の公衆栄養活動等を整理する。	30分
第14回	公衆栄養学（公衆栄養学臨地実習先の検討） 栄養士総合特別演習：試験に替えて、集団栄養指導用スライド作成・提出	
	【予習】居住地や近隣の公衆栄養拠点を調べる。	30分
	【復習】居住地の公衆栄養活動等を整理する。	30分
第15回	公衆衛生学・公衆栄養活動と地域の課題について考える。 臨床栄養学（臨地実習事前指導）	
	【予習】公衆衛生・公衆栄養活動にはどのようなものがあるのか調べる。	30分
	【復習】臨地実習に備えノートを整理する。	30分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	栄養管理業務について専門的な知識・理解力を十分に習得している。	栄養管理業務について専門的な知識・理解力を習得している。	栄養管理業務について専門的な知識・理解力をほぼ習得している。	栄養管理業務について専門的な知識・理解力の修得が少し不足している。	栄養管理業務について専門的な知識・理解力の修得が不足している。
LO-2	臨地実習に向けて専門技術・実践力を十分に習得している。	臨地実習に向けて専門技術・実践力を習得している。	臨地実習に向けて専門技術・実践力をほぼ習得している。	臨地実習に向けて専門技術・実践力の修得が少し不足している。	臨地実習に向けて専門技術・実践力の習得が不足している。
LO-3	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力を十分に備えている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力を備えている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力をほぼ備えている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力が少し不足している。	臨床栄養や公衆栄養の対象について分析し判断する力が少し不足している。
LO-4	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するように積極的に努めている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するように努めている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善するようにだいたい努めている。	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善する努めが少し不足している。	臨床栄養や公衆栄養の対象について問題解決方法を創造的に改善する努めが不足している。
LO-5	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力を十分に備えている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力を備えている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力をほぼ備えている。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力の備えがやや不足している。	栄養の専門職に相応しいモラル、責任感および表現力など全人的総合力の備えが不足している。

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目			担当教員名	竹内 弘幸				
実務経験									
開講時期	1年通年			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	4単位				
前提科目(知識)	食品学、食品学各論、食品加工学			後継科目	後継科目：特別研究				
関連科目	食品学特論、食品学特論								
資格等 取得との関連	学士（栄養士）								
授業の概要	提示した研究テーマについて、調査または実験を行い、学位授与機構提出用の論文としてレポートをまとめる。また、研究成果については、学会にて発表を行う。								
学習目標	食品および栄養学な観点から、提示されたテーマについて深く調査・研究を行っていくことで、高い調査能力、論理的な思考力、レポート作成能力、プレゼンテーション能力を身に付ける。								
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士								
テキスト・ 参考書等	テーマに関連した総説や学術論文								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに関連した深い知識を身に付けている。								
LO-2	調査や実験の手法や統計解析法など、研究に必要となる研究手法を身に付けている。								
LO-3	設定された課題に対して必要となる情報は何か分かり、またその収集方法を知っている。課題解決のためのプロセス（研究方法）を考え出すことができる。得られた結果から、論理的に明解な結論を導き出すことができる。研究内容について、								
LO-4	研究内容について高い関心を持ち、課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。また、協働して働くことができる真摯な態度を持っている。								
LO-5	豊かな人間性を持ち、栄養士の専門職としての使命感や責任感を持っている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		20	40			100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>毎回内容について指導をしながら、研究を進めて行く。</p> <p>A:研究を通して、意欲、真摯な態度、人間性、使命感、責任感について評価。</p> <p>右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：ディスカッション、実習</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	概要説明とテーマ説明	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	テーマに関する基本事項	
	【予習】 テーマについての基本事項についてまとめる	120分
	【復習】	0分
第3回	テーマに関する基本事項について発表する	
	【予習】 基本事項について発表できるようにまとめてくる	120分
	【復習】	0分
第4回	先行研究について	
	【予習】 先行研究について自分なりに調査をしてくる	120分
	【復習】	0分
第5回	先行研究から導き出される仮説案作成	
	【予習】 自分なりに仮説案を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第6回	仮説の絞り込みと検証	
	【予習】 先行研究などをもとに仮説の絞り込みを行ってくる	120分
	【復習】	0分
第7回	実験計画の作成	
	【予習】 先行研究を参考にしながら実験計画案を作成する	120分
	【復習】	0分
第8回	実験計画の修正	
	【予習】 仮説、先行研究、実験環境など現実的な視点から実験計画を修正してくる	120分
	【復習】	0分
第9回	実験計画の作成（最終案）	
	【予習】 さらに検討を重ねて最終的な計画案を作成してくる	120分
	【復習】	0分
第10回	調査・研究の準備 : 実験計画の概要策定	
	【予習】 実験に必要な項目をリストアップ	120分
	【復習】	0分

第11回	調査・研究の準備 : 具体的実験計画の作成	
	【予習】具体的な調査・研究の準備を考える	120分
	【復習】	0分
第12回	調査・研究の準備 : 必要な試薬や器具の手配	
	【予習】最終的な準備、漏れなどがないかよく確認する	120分
	【復習】	0分
第13回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく。	120分
第14回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第15回	調査・研究の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第16回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第17回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第18回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第19回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第20回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分

第21回	調査・研究の実施 : 作成した研究計画に基づき実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した内容を確認し、まとめておく	120分
第22回	データ集計方法について学ぶ	
	【予習】	0分
	【復習】集計方法に従いデータを集計する	120分
第23回	追加のデータ集計を実施	
	【予習】	0分
	【復習】データ集計結果の確認を行う	120分
第24回	統計方法について	
	【予習】	0分
	【復習】統計手法について理解を深める	120分
第25回	統計解析の実施	
	【予習】	0分
	【復習】実施した統計解析方法の確認と理解	120分
第26回	研究結果のまとめ	
	【予習】データ集計や統計解析から得られた結果をまとめる	120分
	【復習】	0分
第27回	研究結果の考察	
	【予習】まとめた研究結果から考えられること、仮設から導きられる研究の結論について考えてくる	120分
	【復習】	0分
第28回	考察の検証	
	【予習】先行研究を調査することで、結論の妥当性について確かめる	120分
	【復習】	0分
第29回	研究結果から得られる結論	
	【予習】	0分
	【復習】研究内容の要旨を作成	120分
第30回	学会発表の準備と申込	
	【予習】学会発表申し込みに必要な事項を理解しておく	120分
	【復習】	0分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	研究テーマに関連した深い知識を十分に身に付けている。	研究テーマに関連した知識を十分に身に付けている。	研究テーマに関連した知識をある程度に身に付けている。	研究テーマに関連した知識を断片的に付けている。	研究テーマに関連した知識をほとんど身に付けていない。
LO-2	調査や実験の手法や統計解析法など、研究に必要な研究手法を十分に身に付けている。	調査や実験の手法や統計解析法など、研究に必要な研究手法を身に付けている。	調査や実験の手法や統計解析法など、研究に必要な研究手法をある程度身に付けている。	調査や実験の手法や統計解析法など、研究に必要な研究手法を部分的に身に付けている。	調査や実験の手法や統計解析法など、研究に必要な研究手法をほとんど身に付けていない。
LO-3	設定された課題に対して必要となる情報は何か分かり、またその収集方法を知っている。課題解決のためのプロセス(研究方法)を考え出すことができる。	設定された課題に対して必要となる情報は何か分かり、またその収集方法を知っている。課題解決のためのプロセス(研究方法)を考え出すことができる。	設定された課題に対して必要となる情報は何かわかつている。課題解決のためのプロセス(研究方法)を考え出すことができる。得られた結果から、結論	設定された課題に対して必要となる情報の概要がわかる。得られた結果から、自分なりに結論を導き出すことができる。研究内容について、パワーポイント	設定された課題に対して必要となる情報が何かについてわからない。また、得られた結果から、結論を導き出すことができない。研究内容について、パワー
LO-4	課題解決に向けて強い意欲を持っている。研究方法および知識活用法を十分に修得し、研究テーマについての課題を創造的に解決できる。職種や世代を超えて	課題解決に向けて強い意欲を持っている。研究方法および知識活用法を修得し、研究テーマについての課題を解決できる。様々な人と協働して働くことができ	課題解決に向けて意欲を持っている。基本的な研究方法および知識活用法を理解し、研究テーマについての課題を解決できる。一定の条件下において他者と協	基本的な研究方法および知識活用法を理解し、研究テーマについての課題をある程度解決できる。限られた条件で他者と協働して働くことができ、比較的眞	研究方法および知識活用法を理解しておらず、研究テーマについての課題をほとんど解決できない。他者と協働で働くことに支障があり、十分に眞摯な態度
LO-5	社会人として十分に通用する豊かな人間性を持ち、栄養士の専門職としての強い使命感や責任感を持っている。	社会人として通用する豊かな人間性を持ち、栄養士の専門職としての使命感や責任感を持っている。	社会人として通用する人間性を持ち、栄養士の専門職としての責任感を持っている。	社会人として最低限必要な人間性を持ち、栄養士としての責任感を持っている。	社会人として最低限必要な人間性を満たしておらず、栄養士としての使命感や責任感も十分ではない。

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	大森 聡					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得								
授業の概要	教員の提示した栄養学に関するテーマについて、研究に取り組み論文をまとめて学会等での発表を行う。作成した論文は学位授与機構に提出するため、学位の所得に大きく関わる科目である。								
学習目標	教員指導の下で自分の研究テーマに関する知見を得ること目指し、文献購読、実験計画、結果の考察、プレゼンテーション等の研究の一連の流れを自主的に行い、問題解決能力を身につける。								
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	自分の研究テーマに関する専門的な知識を身につけている。								
LO-2	自分の研究テーマに関する実験技術を身につけている。								
LO-3	自分の研究テーマについて深く理解し、プレゼンテーションを通して他人に伝えることができる。								
LO-4	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲をもつ。								
LO-5	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と積極的に意見交換できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						10			10
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						60			60
LO-5						10			10
備考	A.特別研究に対する取り組み方を総合的に評価する。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：ディスカッション								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究概要の説明、研究の進め方の説明	
	【予習】研究に関して興味を持つ。	60分
	【復習】研究概要や研究の進め方について理解する。	60分
第2回	研究テーマについての説明	
	【予習】研究テーマを自分なりに考えてくる。	30分
	【復習】研究テーマについての調査	60分
第3回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第4回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第5回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第6回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第7回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第8回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分
第9回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分
第10回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分

第11回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第12回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第13回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第14回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第15回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第16回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第17回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第18回	データ整理の説明	
	【予習】これまで得られたデータを見直す	90分
	【復習】データ整理についての確認	30分
第19回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第20回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分

第21回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第22回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第23回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第24回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第25回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第26回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第27回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第28回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第29回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第30回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	自分の研究テーマに関する専門的な豊富な知識を身につけている。	自分の研究テーマに関する専門的な知識を十分身につけている。	自分の研究テーマに関する専門的な知識を身につけている。	自分の研究テーマに関する専門的な知識を最低限身につけている。	自分の研究テーマに関する専門的な知識が身につけていない。
LO-2	自分の研究テーマに関する実験技術をかなり身につけている。	自分の研究テーマに関する実験技術を十分に身につけている。	自分の研究テーマに関する実験技術を身につけている。	自分の研究テーマに関する実験技術を最低限身につけている。	自分の研究テーマに関する実験技術が身につけていない。
LO-3	自分の研究テーマについてかなり深く理解し、プレゼンテーションを通して他人に興味を持ってもらえるように伝えることができる。	自分の研究テーマについて深く理解し、プレゼンテーションを通して他人にわかりやすく伝えることができる。	自分の研究テーマについて理解し、プレゼンテーションを通して他人に伝えることができる。	自分の研究テーマについておおよそ理解し、プレゼンテーションを通して最低限他人に伝えることができる。	自分の研究テーマに対する理解が乏しく、プレゼンテーションを通して他人に伝えることができない。
LO-4	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲がかなりある。	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲が十分にある。	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲がある。	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲が多少ある。	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲がない。
LO-5	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と積極的に意見交換できる。	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と意見交換できる。	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と意見交換がある程度できる。	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と意見交換が最低限できる。	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と意見交換が不十分である。

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	藤田 恭輔					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得								
授業の概要	教員の提示した栄養学に関するテーマについて、研究に取り組み論文をまとめて学会等での発表を行う。作成した論文は学位授与機構に提出するため、学位の所得に大きく関わる科目である。								
学習目標	教員指導の下で自分の研究テーマに関する知見を得ること目指し、文献購読、実験計画、結果の考察、プレゼンテーション等の研究の一連の流れを自主的に行い、問題解決能力を身につける。								
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士								
テキスト・ 参考書等									
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	自分の研究テーマに関する専門的な知識を身につけている。								
LO-2	自分の研究テーマに関する実験技術を身につけている。								
LO-3	自分の研究テーマについて深く理解し、プレゼンテーションを通して他人に伝えることができる。								
LO-4	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲をもつ。								
LO-5	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と積極的に意見交換できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						10			10
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						60			60
LO-5						10			10
備考	A.特別研究に対する取り組み方を総合的に評価する。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：ディスカッション								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究概要の説明、研究の進め方の説明	
	【予習】研究に関して興味を持つ。	60分
	【復習】研究概要や研究の進め方について理解する。	60分
第2回	研究テーマについての説明	
	【予習】研究テーマを自分なりに考えてくる。	30分
	【復習】研究テーマについての調査	60分
第3回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第4回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第5回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第6回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第7回	研究テーマについての先行研究の文献購読	
	【予習】研究テーマに関する文献を読解する	90分
	【復習】文献の内容についてのおさらい	30分
第8回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分
第9回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分
第10回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に新たな課題を考える	120分
	【復習】	0分

第11回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第12回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第13回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第14回	研究実施に向けた準備	
	【予習】実験の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第15回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第16回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第17回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第18回	データ整理の説明	
	【予習】これまで得られたデータを見直す	90分
	【復習】データ整理についての確認	30分
第19回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第20回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分

第21回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第22回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第23回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第24回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第25回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第26回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第27回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第28回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第29回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第30回	研究の実施・データ整理	
	【予習】実験の進め方について予習をする	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	自分の研究テーマに関する専門的な豊富な知識を身につけている。	自分の研究テーマに関する専門的な知識を十分身につけている。	自分の研究テーマに関する専門的な知識を身につけている。	自分の研究テーマに関する専門的な知識を最低限身につけている。	自分の研究テーマに関する専門的な知識が身につけていない。
LO-2	自分の研究テーマに関する実験技術をかなり身につけている。	自分の研究テーマに関する実験技術を十分に身につけている。	自分の研究テーマに関する実験技術を身につけている。	自分の研究テーマに関する実験技術を最低限身につけている。	自分の研究テーマに関する実験技術が身につけていない。
LO-3	自分の研究テーマについてかなり深く理解し、プレゼンテーションを通して他人に興味を持ってもらえるように伝えることができる。	自分の研究テーマについて深く理解し、プレゼンテーションを通して他人にわかりやすく伝えることができる。	自分の研究テーマについて理解し、プレゼンテーションを通して他人に伝えることができる。	自分の研究テーマについておおよそ理解し、プレゼンテーションを通して最低限他人に伝えることができる。	自分の研究テーマに対する理解が乏しく、プレゼンテーションを通して他人に伝えることができない。
LO-4	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲がかなりある。	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲が十分にある。	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲がある。	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲が多少ある。	自分の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲がない。
LO-5	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と積極的に意見交換できる。	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と意見交換できる。	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と意見交換がある程度できる。	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と意見交換が最低限できる。	研究テーマに対する問題解決のため、担当教員等と意見交換が不十分である。

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	川口 将史					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養士)								
授業の概要	教員が提示した栄養あるいは食品に関するテーマについて研究に取り組み、学位授与機構提出用の論文としてレポートをまとめる。また、研究成果について学会での発表を行う。								
学習目標	教員の指導の下で研究の一連の流れを自主的に行う。まず文献講読により研究の背景と実験の原理を理解し、結果を得るための実験計画を自身で立案する。実験により得られた結果について考察し、自身が導き出した結論を論文(レポート)にまとめ、プレゼンテーションを行う。一連の研究活動を通じて、問題点を発見する能力と問題を解決する能力を養う。								
キーワード	研究、論文作成、プレゼンテーション、学士								
テキスト・ 参考書等	テキストなし								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマの背景や実験の原理を理解している。								
LO-2	研究テーマに関する実験技術を身につけている。								
LO-3	データを得るための実験計画を自身で立案できる。 得られた結果について論理的に解釈し、自身が得た結論をプレゼンテーションを通じて他者に伝えることができる。								
LO-4	研究テーマについて、問題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。								
LO-5	研究テーマを遂行するため、担当教員や他の学生メンバーと積極的に意見交換できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						10			10
LO-2						10			10
LO-3						30			30
LO-4						40			40
LO-5						10			10
備考	A. 特別研究に対する取り組み方を総合的に評価する。 右記のアクティブラーニングを授業の各単元で実施します：ディスカッション(意見交換)、問題解決型学習(論文検索その他)								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究概要の説明 研究の進め方の説明	
	【予習】	0分
	【復習】研究概要と研究の進め方について理解する。	60分
第2回	研究テーマの説明	
	【予習】	0分
	【復習】研究テーマの内容について理解する。	60分
第3回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第4回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第5回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第6回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第7回	先行研究の調査・論文講読	
	【予習】テーマに関する先行研究の文献を要約する。	30分
	【復習】講読した論文の内容を理解しなおす。	60分
第8回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に問題点とその解決策を自分なりに考える。	30分
	【復習】作成中の研究計画に問題が無いか検討する。	60分
第9回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に問題点とその解決策を自分なりに考える。	30分
	【復習】作成中の研究計画に問題が無いか検討する。	60分
第10回	研究計画の作成	
	【予習】先行研究を基に問題点とその解決策を自分なりに考える。	30分
	【復習】作成中の研究計画に問題が無いか検討する。	60分

第11回	研究実施に向けた準備（予備実験）	
	【予習】予備実験の内容を把握する。	30分
	【復習】予備実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第12回	研究実施に向けた準備（予備実験）	
	【予習】予備実験の内容を把握する。	30分
	【復習】予備実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第13回	研究実施に向けた準備（予備実験）	
	【予習】予備実験の内容を把握する。	30分
	【復習】予備実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第14回	研究実施に向けた準備（予備実験）	
	【予習】予備実験の内容を把握する。	30分
	【復習】予備実験の結果から、研究計画が妥当か考察する。	60分
第15回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第16回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第17回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第18回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第19回	データ整理の方法に関する検討	
	【予習】データ整理の方法について確認しておく。	30分
	【復習】データ整理の方法が妥当か考察する。	60分
第20回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分

第21回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第22回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第23回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第24回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第25回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第26回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第27回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第28回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第29回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分
第30回	本実験の実施・データの整理	
	【予習】実験の進め方を把握する。	30分
	【復習】本実験で得られた結果についてまとめる。	60分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	研究テーマの背景や実験の原理を詳細に説明できる。	研究テーマの背景や実験の原理をかなり詳しく説明できる。	研究テーマの背景や実験の原理を説明できる。	研究テーマの背景や実験の原理がある説明できる。	研究テーマの背景や実験の原理を説明できない。
LO-2	研究テーマに関する実験技術を非常に高いレベルで身につけている。	研究テーマに関する実験技術を高いレベルで身につけている。	研究テーマに関する実験技術を身につけている。	研究テーマに関する実験技術がある程度身につけている。	研究テーマに関する実験技術を身につけていない。
LO-3	得られた結果を独力で正しく解釈し、自身が得た結論を明確に他者に伝えることができる。	得られた結果を正しく解釈し、自身が得た結論を明確に他者に伝えることができる。	得られた結果を正しく解釈し、自身が得た結論を他者に伝えることができる。	得られた結果をある程度正しく解釈し、自身が得た結論をある程度他者に伝えることができる。	得られた結果を正しく解釈できず、自身が得た結論を他者に伝えることができない。
LO-4	研究テーマについて独力で問題点を発見し、問題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	研究テーマについて問題点を発見し、問題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	研究テーマの問題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	研究テーマの問題解決に向けてある程度意欲的に取り組むことができる。	研究テーマの問題解決に向けて取り組む姿勢が見られない。
LO-5	担当教員や他の学生メンバーとの意見交換の場で積極的に意見を発信し、他の学生メンバーから意見を引き出すことができる。	担当教員や他の学生メンバーとの意見交換の場で積極的に意見を発信し、他の学生メンバーの意見にも応答できる。	担当教員や他の学生メンバーとの意見交換の場で積極的に意見を発信でき、他の学生メンバーの意見をよく聴くことができる。	担当教員や他の学生メンバーとの意見交換の場である程度意見を発信でき、他の学生メンバーの意見をよく聴くことができる。	担当教員や他の学生メンバーとの意見交換の場で意見を発信せず、他の学生メンバーの意見にも耳を貸さない。

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	角田 香澄					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)								
授業の概要	提示した研究テーマについて実験を行い、学位授与機構にレポート提出する。また、研究成果を学会にて発表する。								
学習目標	教員指導のもと、研究計画を立案し、実験を行い、先行知見に基づき考察を行う。論文作成に必要なプロセスを理解し実行できるようになることが目標である。								
キーワード	衛生、微生物、学士(栄養学)								
テキスト・ 参考書等	論文検索サイト等を用いて自身で収集すること。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	テーマ(周辺領域も含む)に関する知識を身につけている。								
LO-2	自身が用いる実験方法や検定方法を身につけている。								
LO-3	実験結果から結論を導き出すことができる。								
LO-4	テーマに関わる周辺知識を意欲的に調べている。								
LO-5	他者に伝わりやすいパワーポイント作成や説明ができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100					100	
LO-1			20					20	
LO-2			20					20	
LO-3			20					20	
LO-4			20					20	
LO-5			20					20	
備考	執筆したレポートはコメントを添えて返却し、さらに推敲してもらいます。 *ディスカッション(アクティブラーニング)を授業の半分以上実施します。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	特別研究の概要を解説する。研究テーマに関連する内容の情報を提示する。先行研究検索の方法を伝える。	
	【予習】昨年度生の学位レポートを読む。	60分
	【復習】研究テーマに関連する先行研究を検索し、その内容を確認する。	60分
第2回	研究テーマに関連する先行研究を検索し、関連する論文はコピーをとっておく。	
	【予習】研究テーマに関連する先行研究を検索し、その内容を確認する。	60分
	【復習】収集した先行研究の論文を読み内容を理解する。	60分
第3回	収集した論文を読み内容を理解する。	
	【予習】関連する論文を集めコピーをとっておく。	120分
	【復習】収集した論文を整理する（表にまとめる）。	0分
第4回	収集した論文を読み内容を理解する。	
	【予習】関連する論文を集めコピーをとっておく。	60分
	【復習】収集した論文を整理する（表にまとめる）。	60分
第5回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（1）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第6回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（2）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第7回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（3）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第8回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（4）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第9回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（5）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分
第10回	先行研究を参考に実験内容を精査し、研究計画を立案する。（6）	
	【予習】関連論文を熟読し、研究計画の概要を考えておく。	60分
	【復習】引き続き研究計画を立案する。	60分

第11回	実験(1)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第12回	実験(2)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第13回	実験(3)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第14回	実験(4)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第15回	実験(5)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第16回	実験(6)	
	【予習】実験のプロトコルを確認しておく。	60分
	【復習】実験結果を整理し、再実験の必要性を検討する。	60分
第17回	図表作成(1)	
	【予習】使用するデータを検討	60分
	【復習】引き続き図表作成	60分
第18回	図表作成(2)	
	【予習】引き続き図表作成	60分
	【復習】引き続き図表作成	60分
第19回	図表作成(3)	
	【予習】引き続き図表作成	60分
	【復習】引き続き図表作成	60分
第20回	図表作成(4)	
	【予習】引き続き図表作成	60分
	【復習】引き続き図表作成	60分

第21回	統計処理	
	【予習】用いる統計方法について確認する。	60分
	【復習】引き続き統計処理を行う。	60分
第22回	統計処理	
	【予習】用いる統計方法について理解を深める。	60分
	【復習】引き続き統計処理を行う。	60分
第23回	統計処理	
	【予習】用いる統計方法について理解を深める。	60分
	【復習】再実験の必要性を再度検討する。	60分
第24回	結果を元にレポート作成	
	【予習】昨年度生の学位レポートを読む。	60分
	【復習】執筆する。	60分
第25回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第26回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第27回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第28回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第29回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分
第30回	結果を元にレポート作成	
	【予習】引き続き執筆する。関連する先行論文を熟読する。	60分
	【復習】引き続き執筆する。	60分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	テーマ(周辺領域も含む)に関する知識を深く身につけている。	テーマ(周辺領域も含む)に関する知識を身につけている。	テーマ(周辺領域も含む)に関する知識を必要な範囲で身につけている。	テーマ(周辺領域も含む)に関する知識を不十分ながら身につけている。	テーマ(周辺領域も含む)に関する知識を身につけていない。
LO-2	自身が用いる実験方法や検定方法を深く身につけている。	自身が用いる実験方法や検定方法を身につけている。	自身が用いる実験方法や検定方法を必要な範囲で身につけている。	自身が用いる実験方法や検定方法を不十分ながら身につけている。	自身が用いる実験方法や検定方法を身につけていない。
LO-3	実験結果からの確に結論を導き出すことができる。	実験結果から結論を導き出すことができる。	実験結果から最低限の結論を導き出すことができる。	実験結果から最低限の結論を不十分ながら導き出すことができる。	実験結果から結論を導き出すことができない。
LO-4	テーマに関わる周辺知識を非常に意欲的に調べている。	テーマに関わる周辺知識を意欲的に調べている。	テーマに関わる周辺知識を最低限調べている。	テーマに関わる周辺知識を不十分ながら調べている。	テーマに関わる周辺知識を調べていない。
LO-5	伝わりやすいパワーポイント作成や説明を高いレベルで行える。	伝わりやすいパワーポイント作成や説明を問題なく行える。	伝わりやすいパワーポイント作成や説明を最低限行える。	不十分ながらパワーポイント作成や説明を行える。	パワーポイント作成や説明を行えない。

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	中根 一恵					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養士)								
授業の概要	提示した研究テーマについて、調査または実験を行い、論文をまとめて学会等での発表を行う。 作成した論文は学位授与機構に提出する。								
学習目標	教員指導の下で自身の研究テーマに関する知見を得ることを目指す。 文献検索、文献購読、実験計画、実験、およびその結果をまとめて考察をし、発表するまでの研究の一連の流れを自主的に 行い、問題解決能力、レポート作成能力、プレゼンテーション能力を身につける。								
キーワード	研究、論文作成、学士(栄養学)								
テキスト・ 参考書等	論文検索などを活用し、情報を収取すること								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	自身の研究テーマに関する専門的な知識を身につけている								
LO-2	自身の研究テーマに関する研究手法を身につけている								
LO-3	課題解決のためのプロセス(研究方法)を考え出すことができる。得られた結果から、論理的に結論を導き出すことができる。								
LO-4	自身の研究テーマに関して、関心を持ち、問題解決にむけて意欲的に取り組むことができる								
LO-5	研究テーマに対する問題解決のため、積極的に意見交換をし、他者に説明することができる								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70		10	20			100
LO-1			20						20
LO-2						10			10
LO-3			10		10				20
LO-4			20			10			30
LO-5			20						20
備考	A.特別研究に対する取組み方を総合的に評価する。 レポートはコメントを記入するなどしてフィードバックを行う。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する：ディスカッション								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究概要、研究の進め方の説明	
	【予習】研究に関して興味・関心を持つ	60分
	【復習】研究概要や研究の進め方について理解する	60分
第2回	研究テーマについての説明、先行研究を検索し、整理する	
	【予習】研究テーマに関する内容を確認する	30分
	【復習】先行研究の論文を読み、内容を理解する	60分
第3回	研究テーマについての先行研究の文献を理解する(1)	
	【予習】研究テーマに関する文献を読む	90分
	【復習】文献内容について復習、まとめ	30分
第4回	研究テーマについての先行研究の文献を理解する(2)	
	【予習】研究テーマに関する文献を読む	90分
	【復習】文献内容について復習、まとめ	30分
第5回	研究テーマについての先行研究の文献を理解する(3)	
	【予習】研究テーマに関する文献を読む	90分
	【復習】文献内容について復習、まとめ	30分
第6回	研究テーマについての先行研究について発表する	
	【予習】研究テーマに関する文献を読む	90分
	【復習】文献内容について復習、まとめ	30分
第7回	研究テーマについての仮説を考える	
	【予習】自分なりの意見をまとめる	90分
	【復習】仮説の検証	30分
第8回	研究計画の作成(1)	
	【予習】先行研究をよく読み、計画の概要を考える	120分
	【復習】研究計画の見直し	0分
第9回	研究計画の見直し、作成(2)	
	【予習】先行研究をよく読み、計画の概要を考える	120分
	【復習】研究計画の見直し	0分
第10回	研究計画の見直し、作成(3)	
	【予習】先行研究をよく読み、計画の概要を考える	120分
	【復習】研究計画の見直し	0分

第11回	調査・研究の準備(1)	
	【予習】研究の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第12回	調査・研究の準備(2)	
	【予習】研究の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第13回	調査・研究の準備(3)	
	【予習】研究の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第14回	調査・研究の準備(4)	
	【予習】研究の進め方について予習をする	60分
	【復習】実施した内容の振り返り	60分
第15回	調査・研究の実施・データ整理(1)	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第16回	調査・研究の実施・データ整理(2)	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第17回	調査・研究の実施・データ整理(3)	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第18回	調査・研究の実施・データ整理(4)	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第19回	調査・研究の実施・データ整理(5)	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第20回	調査・研究の実施・データ整理(6)	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分

第21回	調査・研究の実施・データ整理（7）	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第22回	調査・研究の実施・データ整理（8）	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第23回	調査・研究の実施・データ整理（9）	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第24回	調査・研究の実施・データ整理（10）	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第25回	調査・研究の実施・データ整理（11）	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第26回	調査・研究の実施・データ整理（12）	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第27回	調査・研究の実施・データ整理（13）	
	【予習】実験の手順などを予習	30分
	【復習】実施した内容をまとめる	90分
第28回	研究結果のまとめ	
	【予習】データ集計から得られた結果をまとめる	30分
	【復習】結果の再確認	90分
第29回	研究結果の考察	
	【予習】結果のまとめより考えられることを、結論について考えてくる	30分
	【復習】考察の再確認	90分
第30回	考察の検証、要旨の作成	
	【予習】考察、結論について考えてくる	30分
	【復習】研究内容の要旨の見直し	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	自身の研究テーマに関する専門的な深い知識を十分に身につけている。	自身の研究テーマに関する専門的な知識を十分に身につけている。	自身の研究テーマに関する専門的な知識を身につけている。	自身の研究テーマに関する専門的な知識を最低限身につけている。	自身の研究テーマに関する専門的な知識を身につけていない。
LO-2	自身の研究テーマに関する研究手法を十分に身につけている。	自身の研究テーマに関する研究手法を身につけている。	自身の研究テーマに関する研究手法をある程度身につけている。	自身の研究テーマに関する研究手法を最低限身につけている。	自身の研究テーマに関する研究手法を身につけていない。
LO-3	課題解決のための方法を考え出すことができ、得られた結果から、論理的な結論を導き出すことができる。	課題解決のための方法を見つけることができ、得られた結果から、結論を導き出すことができる。	課題解決のための方法を見つけることができ、得られた結果をまとめることができる。	課題解決のための方法を見つけることができる。	課題解決のための方法見つける意欲がなく、得られた結果から、結論を導き出すことができない。
LO-4	自身の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲に満ちている。	自身の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲が十分にある。	自身の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲がある。	自身の研究テーマに対し、問題解決にむけて取り組む意欲が不足している。	自身の研究テーマに対して、問題解決にむけて取り組む意欲が不十分である。
LO-5	研究テーマに対する問題解決のため、積極的に意見交換をし、他者が研究内容を理解できるように伝えることができる。	研究テーマに対する問題解決のため、意見交換ができる。他者が研究内容を理解できるように伝えることができる。	研究テーマに対する問題解決のため、ある程度意見交換ができる。他者に研究内容を伝えることができる。	研究テーマに対する問題解決のため、最低限意見交換ができる。他者に研究内容を最低限伝えることができる。	研究テーマに対する問題解決のため、交換が不十分である。他者に研究内容を伝えることができない。

授業科目名	特別研究			科目コード	A151-31				
科目区分	専門科目 - 専門総合科目 - 総合科目		担当教員名	半田 彩実					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	4単位					
前提科目(知識)	食品学, 食品衛生学, 調理学		後継科目	特別研究					
関連科目	食品学特論 , 食品衛生学特論, 調理学特論に関連する講義および実験・実習科目								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)								
授業の概要	研究テーマについて, 文献や資料の検索, 収集の仕方を身に付けるとともに, 文献を読み, 発表することを繰り返し行うことによって, テーマについての理解を深める。また, 計画に基づいて実験を繰り返し実施することで結果を出し, その結果を見ながら実験の方向性や実験方法を検討して進める力を養う。								
学習目標	先行研究を検索・収集し, まとめることができる。 実験を繰り返し実施して結果を出し, その結果を受けて行うべき内容を考えることができる。								
キーワード	研究 食品 ヒスタミン 安全性								
テキスト・ 参考書等	適宜, 必要に応じて配布するが, 研究テーマに沿った先行研究が主なテキストになるので, 主体的にインターネット等を用いて論文検索を行うこと。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	研究テーマに関連した内容を理解している。								
LO-2									
LO-3	研究テーマに関する先行研究や実験の結果をわかりやすくまとめ, 今後行うべき内容を考えることができる。								
LO-4	研究テーマに対して関心を持ち, 問題解決に向けた意欲がある。								
LO-5	研究テーマに対して担当教員などと積極的に意見交換でき, 協調性をもって研究を行うことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			40		20	40			100
LO-1					20				20
LO-2									
LO-3			40						40
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>その他Aは, 授業に対して取り組む姿勢から判断する。  作成したレポートや発表資料は, ディスカッションにも使用し, その場でコメントを伝える。  右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する: ディスカッション</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	研究テーマの概要説明 研究とは	
	【予習】説明会の際の内容を思い出しておく	20分
	【復習】研究計画を考える	30分
第2回	研究計画書の作成 論文の検索方法	
	【予習】研究計画書について調べる	30分
	【復習】研究テーマに合った論文を検索する	30分
第3回	研究計画書の確認	
	【予習】研究計画書を再度見直す	30分
	【復習】研究テーマに合った論文を検索し、紹介論文を決める	120分
第4回	論文抄読 発表とディスカッション1	
	【予習】検索した学術論文の中から1つ選び、内容をA4, 1枚のレジュメにまとめる	120分
	【復習】引き続き、論文を検索する	30分
第5回	研究方法について	
	【予習】研究方法の種類を調べる	30分
	【復習】研究テーマに適した方法は何かを考える	30分
第6回	実験の準備1	
	【予習】実験方法を確認する	30分
	【復習】実験・調査の流れを確認する	30分
第7回	実験の準備2	
	【予習】濃度計算を行う	30分
	【復習】予備実験に向けて、必要なものをすべて用意する	60分
第8回	予備実験1	
	【予習】実験の流れをノートに記載してくる	30分
	【復習】予備実験を踏まえて改善・修正をする	60分
第9回	予備実験2	
	【予習】実験の流れを確認する	30分
	【復習】本実験に向けて準備を進める	60分
第10回	実験の実施1	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分

第11回	実験の実施2	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第12回	実験の実施3	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第13回	実験の実施4	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第14回	実験の実施5	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第15回	プレゼンテーションについて	
	【予習】見えやすいプレゼンテーションについて考える	30分
	【復習】引き続き，論文を検索する	30分
第16回	これまでの研究成果発表とディスカッション	
	【予習】夏休みに行った内容と結果を踏まえて発表ができるよう，PowerPointを作成する	120分
	【復習】ディスカッションを踏まえ，今後行うべき内容を考える	60分
第17回	中間発表会に向けたPowerPointおよび原稿の作成1	
	【予習】前回の発表資料を基に見やすくできるよう検討する	30分
	【復習】時間内に発表できるように調整する	60分
第18回	中間発表会に向けたPowerPointおよび原稿の作成2	
	【予習】前回のディスカッションを踏まえて修正・検討する	60分
	【復習】発表練習をする	60分
第19回	中間発表会に向けたリハーサル	
	【予習】発表会に向けて発表原稿を読み返し，練習および質問について答えられるように準備する	30分
	【復習】リハーサルでの修正箇所を検討し，発表会に向けて十分に練習をする	60分
第20回	今後の進め方の検討と確認	
	【予習】中間発表会時の意見交換内容を振り返り，質問を回答をまとめる	60分
	【復習】実験方法を再度確認する	30分

第21回	実験の実施6	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第22回	実験の実施7	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第23回	実験の実施8	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第24回	実験の実施9	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第25回	実験の実施10	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第26回	実験の実施11	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第27回	実験の実施12	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第28回	実験の実施13	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第29回	実験の実施14	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分
第30回	実験の実施15	
	【予習】必要な物を用意する	30分
	【復習】結果をまとめる	60分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	研究テーマに関連する内容を非常に理解している。	研究テーマに関連する内容を理解している。	研究テーマに関連する内容をおおむね理解している。	研究テーマに関連する内容の理解はおおむねしているが、努力が必要である。	研究テーマに関連する内容を理解していない。
LO-2					
LO-3	研究テーマに関する先行研究や実験の結果をわかりやすくまとめ、今後行うべき内容を積極的に考えることができる。	研究テーマに関する先行研究や実験の結果をわかりやすくまとめ、今後行うべき内容を考えることができる。	研究テーマに関する先行研究や実験の結果をおおむねわかりやすくまとめ、今後行うべき内容をおおむね考えることができる。	研究テーマに関する先行研究や実験の結果がまとめられているが、今後行うべき内容を考えられない。	研究テーマに関する先行研究や実験の結果がまとめられず、今後行うべき内容を考えられない。
LO-4	研究テーマに対して関心を持ち、問題解決に向けた意欲が非常にある。	研究テーマに対して関心を持ち、問題解決に向けた意欲がある。	研究テーマに対して関心を持っているが、問題解決に向けた意欲がおおむねある。	研究テーマに対して関心を持っているが、問題解決に向けた意欲が不足している。	研究テーマに対して関心を持っておらず、問題解決に向けた意欲が不足している。
LO-5	研究テーマに対する問題解決のために、担当教員などと積極的に意見交換でき、相手を尊重し、協調性をもって研究を行うことができる。	研究テーマに対する問題解決のために、担当教員などと積極的に意見交換でき、協調性をもって研究を行うことができる。	研究テーマに対する問題解決のために、担当教員などと意見交換でき、協調性をもって研究を行うことができる。	研究テーマに対する問題解決のための意見は出さないが、協調性をもって研究を行うことができる。	研究テーマに対する問題解決のための意見を出さず、単独で研究を進めている。

授業科目名	臨床心理学特論			科目コード	A311-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 社会生活と健康		担当教員名	坂井 朋子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	はじめに臨床心理学、カウンセリングについて概観し、次に心の不調、発達、ライフサイクルについて学ぶ。さらに、ワークを通して自己理解を深めながら、カウンセリングの理論、技法を学習し、実際場面での関わり方の基本をロールプレイで体験的に身につける。								
学習目標	カウンセリングの理論、技法を理解し、栄養カウンセリングのイメージを深めていくことを目標とする。								
キーワード	臨床心理学、カウンセリング、カウンセリングの技法								
テキスト・ 参考書等	事前に資料を配付します。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	カウンセリングの理論、技法について理解する。								
LO-2	ワークをとおして自己理解を深めながら、面接場面における他者との関わり方の基本を身につける。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40					60			100
LO-1	40								40
LO-2						60			60
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	<p>毎回授業の最後に、関心を持ったことや疑問に思ったことを書いて提出してもらいます。</p> <p>A：平常点（授業中の様子やミニツツペーパー等による関与度）から評価します。</p> <p>右記のアクティブラーニングを授業で実施します：実習</p>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 臨床心理学、カウンセリングとは何か	
	【予習】カウンセリングとはどういうものか、自分なりにイメージしておいてください。	90分
	【復習】授業の内容を復習する。	90分
第2回	アセスメントー自己理解・他者理解 ワーク（エゴグラム）	
	【予習】配布資料-1「アセスメントー自己理解・他者理解」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業内容を復習する。	90分
第3回	アセスメントー自己理解・他者理解 ワーク（他己紹介）	
	【予習】配布資料-2「アセスメントー自己理解・他者理解」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第4回	心の不調	
	【予習】配布資料-3「心の不調」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第5回	発達過程で生じる障がいや心理的問題	
	【予習】配布資料-4「発達過程で生じる障がいや心理的問題」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第6回	発達過程で生じる障がいや心理的問題	
	【予習】配布資料-5「発達過程で生じる障がいや心理的問題」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第7回	ライフサイクルと心理的問題	
	【予習】配布資料-6「ライフサイクルと心の問題」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第8回	ライフサイクルと心理的問題 ワーク（人生グラフ）	
	【予習】配布資料-7「ライフサイクルと心理的問題」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第9回	来談者中心的アプローチ、深層心理的アプローチの理論 ワーク（傾聴の基礎練習）	
	【予習】配布資料-8「来談者中心的アプローチ、深層心理的アプローチの理論」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第10回	来談者中心的アプローチ、深層心理的アプローチの理論ー遊びの大切さ ワーク（スクイグル）	
	【予習】配布資料-9「来談者中心的アプローチ、深層心理的アプローチの理論ー遊びの大切さ」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分

第11回	認知・行動的アプローチの理論	
	【予習】配布資料-10「認知・行動的アプローチの理論」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第12回	グループ・アプローチ-集団療法、SSTの理論	
	【予習】配布資料-11「グループアプローチ-集団療法、SSTの理論」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第13回	ストレスマネジメント ワーク（ストレスマネジメントの実際）	
	【予習】配布資料-12「ストレスマネジメント」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第14回	面接における関わりかた、焦点化 ワーク（ロールプレイ） 次回ロールプレイの打ち合わせ	
	【予習】配布資料-13「面接における関わりかた、焦点化」を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料と授業の内容を復習する。	90分
第15回	ワーク（傾聴、焦点化のロールプレイ） 質疑応答	
	【予習】ロールプレイの内容を考えておく。	90分
	【復習】ロールプレイを振り返り整理する。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	カウンセリングの理論、技法についての知識が十分身についている。	カウンセリングの理論、技法についての知識がおおよそ身についている。	カウンセリングの理論、技法についての知識がある程度身についている。	カウンセリングの理論、技法についての知識が最低限身についている。	カウンセリングの理論、技法についての知識が不十分である。
LO-2	ワークをとおして、自己理解、相手との関係づくりが十分できている。	ワークをとおして、自己理解、相手との関係づくりがおおよそできている。	ワークをとおして、自己理解、相手との関係づくりがある程度できている。	ワークをとおして、自己理解、相手との関係づくりが最低限できている。	ワークをとおして、自己理解、相手との関係づくりが不十分である。
LO-3					
LO-4					
LO-5					

授業科目名	情報処理特論			科目コード	A315-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 給食の運営		担当教員名	松村 健太 土田 暁子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	短大卒業程度の情報処理の知識		後継科目						
関連科目	保健衛生学 、 給食管理特論								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	医療統計、疫学調査、介入研究の実際などについて学ぶ。Excelでは様々なデータ処理が可能であるが、ここでは特にExcelの統計処理機能に重点をおいて学ぶ。各種統計処理に準備された関数を使って、どのように検定が行えるかをみる。仮説、帰無仮説、対立仮説、有意率、棄却といった基本的な概念からはじめ、各種の検定を実例を通してみることにより、栄養・食品の安全性研究等への理解を深める。								
学習目標	医療統計、疫学調査、介入研究について概説ができること。 仮定仮説、有意率などの概念を理解し、栄養・食品の安全性関係の研究の理解を深めること。 正規分布、t検定、F検定にまつわるExcel関数とその使用方法を理解し、ExcelマクロとVisual BASICの大枠を把握すること。								
キーワード	情報処理、確率統計、疫学調査、介入研究								
テキスト・ 参考書等	特になし								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	授業で扱った内容を網羅的に理解し、正しく説明できる。								
LO-2	(1)パラメトリック統計とノンパラメトリック統計を体系的に説明できる。(2)検定とは何かの説明できる。(3)t検定、分散分析、パラメトリック多重比較の経験を持つ (4)2群の比較、3群以上の比較のノンパラメトリックのアナロジーができる。(5)								
LO-3									
LO-4	エビデンスに基づく栄養を考える際に必要となる統計について、全般的な見通しがきき、将来にわたり守備範囲を広げていくことができること。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20			80			100
LO-1			10						10
LO-2						80			80
LO-3									
LO-4			10						10
LO-5									
備考	レポート(20%程度)、授業で指定した提出物(80%程度)とし、総合評価する。提出物に関しては、添削結果とコメントを付けて学生に返却する。 授業時間内に指定した課題が終わらなかった場合は、次回の開始時まで提出すること。宿題も同様である。ノートPCセッティングは、授業開始前に済ませておくこと。なお、進度により内容を変更することがある。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	食品の安全性を評価するための研究理解 1(土田) 内閣府食品安全委員会のリスク評価・ファクトシートの見方	
	【予習】前回までの授業を見返すこと、インターネット接続環境を用意すること。	15分
	【復習】内閣府食品安全委員会が食品中の物質についてリスク評価を行なっていること、ファクトシート(科学的知見に基づく概要書)を作成していることを理解し、それぞれの内容を理解する。	30分
第2回	食品の安全性を評価するための研究理解 2(土田) 内閣府食品安全委員会のリスク評価の科学的根拠	
	【予習】前回の内容を復習し、十分理解しておくこと。インターネット接続環境を用意すること。	15分
	【復習】内閣府食品安全委員会のリスク評価「魚介類に含まれるメチル水銀に関する食品健康影響評価について」の提言について理解する。また、どのような指標(=科学的根拠)を用いて評価に至ったかを理解する。	30分
第3回	医療統計、疫学調査、介入研究(松村) 実際の栄養系の医療統計、疫学調査、介入研究などがどのように行われているか、またそのデータの読み解き方、解釈方法について概説する。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容について把握すること	15分
	【復習】配布された資料および自分のノートを読んで、理解しておくこと	30分
第4回	記述統計学と推測統計学(松村) 変数の尺度(比例、間隔、順序、名義)、実験計画と要因配置、エビデンスレベル、バイアス	
	【予習】各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと	15分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	30分
第5回	代表値、基本統計量(分散、標準偏差、変動係数)、正規分布、確率密度関数、累積分布関数、歪度、尖度、など 散布図、単純集計、クロス集計(松村)	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第6回	母集団と標本(松村) 無作為抽出、大数の法則、中心極限定理、スチューデントのt分布、二項分布、信頼区間	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第7回	仮説検定(松村) 有意、p値、第1種と2種の誤り カイ二乗検定 比率の検定、適合度の検定	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること	40分
第8回	相関係数、外れ値、相関係数の差の検定、回帰分析、単回帰(松村)	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第9回	対応のない2群のデータの検定(松村) (パラメトリック)対応のないt検定、F検定(2群の等分散の検定)、ウェルチの検定、 (ノンパラメトリック)マンホイットニ検定	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第10回	対応のある2群の検定(松村) (パラメトリック)対応のあるt検定、 (ノンパラメトリック)、ウィルコクソンの符号付順位和検定	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分

第11回	対応のない独立多群の検定（松村） （パラメトリック）一元配置分散分析、多重比較法（ダネット法、テューキー法） （ノンパラメトリック）クラスカルワリス検定、多重比較法	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境と、インターネット接続環境を用意しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第12回	関連多群の検定（松村） （パラメトリック）繰り返しのない二元配置分散分析、繰り返しのある二元配置分散分析 （ノンパラメトリック）フリードマン検定、多重比較法	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境と、インターネット接続環境を用意しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第13回	重回帰、多重ロジスティック回帰、一般線形化モデル（松村）	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。	40分
第14回	感度と特異度（松村）	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。 全体を通して未提出の課題、レポート等がある場合は、早めに提出すること。	40分
第15回	エクセルマクロ、Visual BASIC入門（松村）	
	【予習】前回までの授業内容を復習し、十分理解しておくこと。 各自、Excelを動かせる環境を準備しておくこと。	5分
	【復習】課題の指定がある場合は、Excelで実行し、提出すること。 全体を通して未提出の課題、レポート等がある場合は、早めに提出すること。	40分

### 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	医療統計、疫学調査、介入研究、食品の安全性研究についての専門知識を、それらの背景まで含め、体系的に理解している。	医療統計、疫学調査、介入研究、食品の安全性研究についての専門知識を整理し、体系的に理解している。	医療統計、疫学調査、介入研究、食品の安全性研究についての専門知識を理解している。	医療統計、疫学調査、介入研究、食品の安全性研究についての専門知識を、8割程度理解している。	医療統計、疫学調査、介入研究、食品の安全性研究についての専門知識を、半分程度しか理解していない。
LO-2	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・高度な統計処理が実践ができること。	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・統計処理が実践ができること。	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・統計処理が不十分ながらできること。	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・統計処理が必要最小限にはできること。	職務遂行の技術・実践、特にPCによるデータ処理・統計処理ができない。
LO-3					
LO-4	知らない統計分析に出会った場合でも、これまでの知識と結びつけて自発的に学習していくことができる。	知らない統計分析に出会った場合でも、わずかな補助があるだけで、これまでの知識と結びつけて自発的に学習していくことができる。	知らない統計分析に出会った場合でも、補助があれば、これまでの知識と結びつけて自発的に学習していくことができる。	知らない統計分析に出会った場合でも、十分な補助があれば、これまでの知識と結びつけて自発的に学習していくことができる。	知らない統計分析に出会った場合、十分な補助がなくしては、これまでの知識と結びつけられず自発的に学習していくことができない。
LO-5					

授業科目名	健康科学文献講読			科目コード	A317-10				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 文献講読		担当教員名	川口 将史					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	健康科学文献講読II					
関連科目									
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	食物栄養学分野の日本語文献を教材とし、論文の構造を理解する。 教材とした論文の背景と方法を読み、論文に掲載されたデータから何を読み取れるのか、それをどのように記述するのかを考える。 教材とした論文の中で、実験データの解析にどのような統計学的手法が用いられているのかを解説する。								
学習目標	特別研究で自身が実験を行った際、得られたデータを自身の力で正しく解釈し、表現できる力を養う。 実験データの解析に適した統計学的手法を理解する。 論文の一般的な構造を理解し、特別研究で執筆する論文(レポート)を自身の力で書くことができる力を養う。								
キーワード	日本語論文、要旨、背景、目的、方法、結果、考察、参考文献、グラフ、データ解析、統計学的手法								
テキスト・ 参考書等	適宜、プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	食物栄養学分野の日本語論文に記載されているデータを、適切に読み解くための専門知識を身につけている。								
LO-2	食物栄養学分野の実験で得られたデータから解釈される内容を、日本語の文章で表現する力を身につけている。								
LO-3	食物栄養学分野の日本語論文に記載されているデータを論理的に解釈し、考察するための力を身につけている。								
LO-4	与えられた実験データを理解しようとする意欲がある。								
LO-5	自身の考えを積極的に発信することができ、他者の考えに耳を傾けて理解することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			60			40			100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4						10			10
LO-5						30			30
備考	A：本講義では、対話を通じて自身の考えを表現し、他者の考えを理解した上で議論する姿勢を評価する。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：ディスカッション(意見交換)、問題解決型学習(文献検索その他) 提出課題(レポート)：講義の中で配布したプリントに自身の考えを記述し、これを各回のレポートとして回収して評価す								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス：講義の進め方と評価の方法について説明。 日本語論文を読み解く1	
	【予習】	0分
	【復習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を復習する。	120分
第2回	日本語論文を読み解く2	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第3回	日本語論文を読み解く3	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第4回	日本語論文を読み解く4	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第5回	日本語論文を読み解く5	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第6回	日本語論文を読み解く6	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第7回	日本語論文を読み解く7	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第8回	日本語論文を読み解く8	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第9回	日本語論文を読み解く9	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第10回	日本語論文を読み解く10	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。 解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分

第11回	日本語論文を読み解く11	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第12回	日本語論文を読み解く12	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第13回	日本語論文を読み解く13	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第14回	日本語論文を読み解く14	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分
第15回	日本語論文を読み解く15 総括	
	【予習】教材の日本語論文の「背景」で説明されている食物栄養学分野の専門知識を予習する。	90分
	【復習】論文のデータを見直し、どのような解釈が得られるのかを再度考える。解析に用いられた統計学的手法について再度確認する。	90分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	食物栄養学分野の実験データを読み解くための専門知識が十分に身につけている。	食物栄養学分野の実験データを読み解くための専門知識が十分に身につけている。	食物栄養学分野の実験データを読み解くための専門知識がある程度身につけている。	食物栄養学分野の実験データを読み解くための専門知識がやや足りない。	食物栄養学分野の実験データを読み解くための専門知識があまり身につけていない。
LO-2	実験データから解釈される内容を、日本語の文章で十分に表現することができる。	実験データから解釈される内容を、日本語の文章で十分に表現することができる。	実験データから解釈される内容を、日本語の文章で程度表現することができる。	実験データから解釈される内容を、日本語の文章で表現する力がやや足りない。	実験データから解釈される内容を、日本語の文章で表現する力があまり身につけていない。
LO-3	データを極めて論理的に解釈し、考察することができる。	データを論理的に解釈し、考察することができる。	データをある程度論理的に解釈し、考察することができる。	データを論理的に解釈し、考察する力がやや足りない。	データを論理的に解釈し、考察する力があまり身につけていない。
LO-4	教材論文に関連する専門知識を積極的に予習し、多角的に実験データを解釈しようとしている。	教材論文に関連する専門知識を予習し、実験データの解釈に用いようとしている。	教材論文に関連する専門知識をある程度予習し、実験データの解釈に用いようとしている。	教材論文に関連する専門知識の予習がやや不足しており、実験データの解釈への応用がやや不足している。	教材論文に関連する専門知識の予習ができておらず、実験データの解釈に応用できていない。
LO-5	自身の考えを積極的に発信することができる。また他者の考えに耳を傾け、十分に理解した上で議論ができる。	自身の考えを積極的に発信することができる。また他者の考えに耳を傾け、理解した上で議論ができる。	自身の考えをある程度積極的に発信することができる。また他者の考えに耳を傾け、ある程度理解した上で議論ができる。	自身の考えを発信する積極さがやや足りない。また他者の考えに耳を傾け、理解した上で議論ができる力がやや足りない。	自身の考えを発信することができない。また他者の考えに耳を傾け、理解した上で議論することができない。

授業科目名	健康科学文献講読			科目コード	A317-12				
科目区分	関連科目 - 関連科目 - 文献講読		担当教員名	望月 健一					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	健康科学文献講読		後継科目	特別研究					
関連科目	なし。								
資格等 取得との関連	学士(栄養学)取得 管理栄養士国家試験受験資格								
授業の概要	食物栄養学の英語のニュース、エッセイ、論文の抄録 (abstract) を精読し、実践的な英文読解力の向上を図る。また、自分の研究分野に関する英語の論文を自分で探す力を身につける。								
学習目標	食物や栄養学の分野の英語の語彙・表現の知識を身につけるとともに、実践的な英文読解力の向上を図る。								
キーワード	食物や栄養学の分野の英語の語彙、表現、専門用語、論文								
テキスト・ 参考書等	プリント使用。以下の著書、教科書、論文で、いくつか重要な箇所を選び、精読する。 ・ 'Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語を習得している。								
LO-2	【技能】食物や栄養学の分野の英文の内容を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】食物や栄養学の分野の英文を批判的に読み、自分の意見を持つことができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の研究分野に関する最新の研究に関心を持ち、英語の論文を自分で探すことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】食物や栄養学の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	40	20					100	
LO-1	8	8	4					20	
LO-2	8	8	4					20	
LO-3	8	8	4					20	
LO-4	8	8	4					20	
LO-5	8	8	4					20	
備考	小テスト (40%)、最終試験 (40%)、自分の研究分野の英語参考文献リスト (20%) で評価する。 * 試験については、採点后答案を返却し、解説を行う。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、英語で自己紹介、新型コロナ・ウイルスに関する英語のクイズ	
	【予習】なし。	0分
	【復習】自分の趣味、好きな食べ物、研究テーマ、キーワード等について、英語でどのように表現するか辞書等で確認する。	15分
第2回	Patient-centered approach to treating obesity (患者に焦点をあてた肥満治療へのアプローチ) (1)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第3回	Patient-centered approach to treating obesity (患者に焦点をあてた肥満治療へのアプローチ) (2)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第4回	Trans Fats Should be Eliminated Worldwide by 2023, W.H.O. Says (2023年までにトランス脂肪は全世界で除去されるべきである、と世界保健機関が発表) (1)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第5回	Trans Fats Should be Eliminated Worldwide by 2023, W.H.O. Says (2023年までにトランス脂肪は全世界で除去されるべきである、と世界保健機関が発表) (2)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第6回	Trans Fats Should be Eliminated Worldwide by 2023, W.H.O. Says (「2023年までにトランス脂肪は全世界で除去されるべきである、と世界保健機関が発表」) (3)	
	【予習】上記記事に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分
第7回	Nutraceutical Effects of Fucoxanthin for Obesity and Diabetes Therapy: A Review' - Abstract (「肥満と糖尿病におけるフコキサンチンの機能性食品の効果：レビュー」抄録) (1) 小テスト	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第8回	Nutraceutical Effects of Fucoxanthin for Obesity and Diabetes Therapy: A Review' - Abstract (「肥満と糖尿病におけるフコキサンチンの機能性食品の効果：レビュー」抄録) (2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第9回	Polyphenol-rich beverages promote a sustainable and renewable generation of energy and prevent neurotoxicity' - Abstract (「ポリフェノールを多く含む飲料は、持続・再生可能なエネルギーの生成を促進し、神経毒を予防する」) (1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第10回	Polyphenol-rich beverages promote a sustainable and renewable generation of energy and prevent neurotoxicity' - Abstract (「ポリフェノールを多く含む飲料は、持続・再生可能なエネルギーの生成を促進し、神経毒を予防する」) (2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分

第11回	More than Half of US Youth Consume Seafood and Most Have Blood Mercury Concentrations below the EPA Reference Level 2009-2012' - Abstract (「2009～2012年(の国民健康栄養調査によれば)、米国の若者の半数以上がシーフードを消費したが、大多数の者の血中水銀濃度は環境保護局の参照レベルを下回っていた」)(1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、最終試験に備えて、第8～15回の授業で読んだすべての論文の抄録の復習を行う。	15分
第12回	More than Half of US Youth Consume Seafood and Most Have Blood Mercury Concentrations below the EPA Reference Level 2009-2012' - Abstract (「2009～2012年(の国民健康栄養調査によれば)、米国の若者の半数以上がシーフードを消費したが、大多数の者の血中水銀濃度は環境保護局の参照レベルを下回っていた」)(2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。また、最終試験に備えて、第8～15回の授業で読んだすべての論文の抄録の復習を行う。	15分
第13回	Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」抄録)(1)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第14回	Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」)(2)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	15分
第15回	Increased Whole Grain Consumption Does Not Affect Blood Biochemistry, Body Composition, or Gut Microbiology in Healthy, Low-Habitual Whole Grain Consumers'-Abstract (「全粒穀物の消費量を増やすことは、健康で習慣的に少量の全粒穀物を消費する人達の血液の生化学、体組織、あるいは腸内の微生物に影響を与えない」)(3)	
	【予習】上記論文の抄録に出てくる単語や専門用語の意味を英和大辞典、栄養学英和大辞典、医学大辞典などで調べ、英文の意味を考えてくる。	30分
	【復習】予習で意味のわからなかった単語や文章、授業で受けた説明などを整理し、理解する。	30分

## 学修成果別評価基準(ルーブリック)

5段階評価基準	S	A	B	C	F
LO-1	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語を十分に習得している。	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語を大体習得している。	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語をある程度習得している。	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語をあまり習得していない。	食物や栄養学の分野で使われる英語の語彙・専門用語をまったく習得していない。
LO-2	食物や栄養学の分野の英文の内容をよく理解できる。	食物や栄養学の分野の英文の内容を大体理解できる。	食物や栄養学の分野の英文の内容を少し理解できる。	食物や栄養学の分野の英文の内容をあまりよく理解できない。	食物や栄養学の分野の英文の内容をまったく理解できない。
LO-3	食物や栄養学の分野の英文を批判的に読む能力が身につけており、教員や他の学生のアドバイスをなくとも自分の意見を持つことができる。	食物や栄養学の分野の英文を批判的に読む能力が身につけており、教員や他の学生の意見を参考に、ある程度自分の意見を持つことができる。	食物や栄養学の分野の英文を批判的に読む姿勢が身につけており、教員や他の学生の意見のある程度理解することができる。	食物や栄養学の分野の英文を批判的に読む姿勢があまり身につけておらず、教員や他の学生の意見をあまりよく理解することができない。	食物や栄養学の分野の英文を批判的に読む姿勢がまったく身につけておらず、教員や他の学生の意見をまったく理解することができない。
LO-4	自分の研究分野に関する最新の研究に強い関心を持っている。また、教員のアドバイスがなくても英語の論文を自分で探ることができる。	自分の研究分野に関する最新の研究に関心を持っている。また、英語の論文を自分で探ることができる。	自分の研究分野に関する最新の研究にある程度関心を持っている。また、教員のアドバイスがあれば、英語の論文を探ることができる。	自分の研究分野に関する最新の研究にあまり関心がない。また、教員のアドバイスを受けても、英語の論文を探ることが困難である。	自分の研究分野に関する最新の研究にまったく関心がない。また、教員のアドバイスを受けても、英語の論文を探ることができない。
LO-5	食物や栄養学の分野のトピックで、大いにコミュニケーションをはかる意欲と能力がある。	食物や栄養学の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。	食物や栄養学の分野のトピックで、ある程度コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。	食物や栄養学の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力があまりない。	食物や栄養学の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がほとんどない。